

発生土置き場について
【別冊資料編】

目次

(1) 発生土置き場計画地で実施した地質調査結果.....	1
1) ボーリング位置図	1
2) 各発生土置き場におけるボーリング結果.....	5
3) ボーリング柱状図・地質断面図	6

令和6年9月

東海旅客鉄道株式会社

(1) 発生土置き場計画地で実施した地質調査結果

1) ボーリング位置図

・各発生土置き場候補地において、平成25年から令和4年にかけて鉛直ボーリングを行いました(図1～図6)。これらの調査結果に基づき、設計に必要な地盤モデルを作成しております。

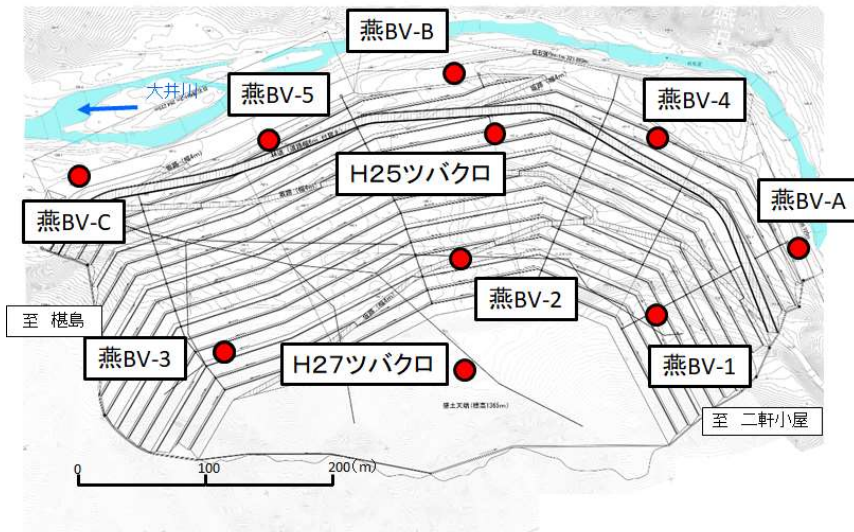


図 1 ツバクロ発生土置き場ボーリング位置図

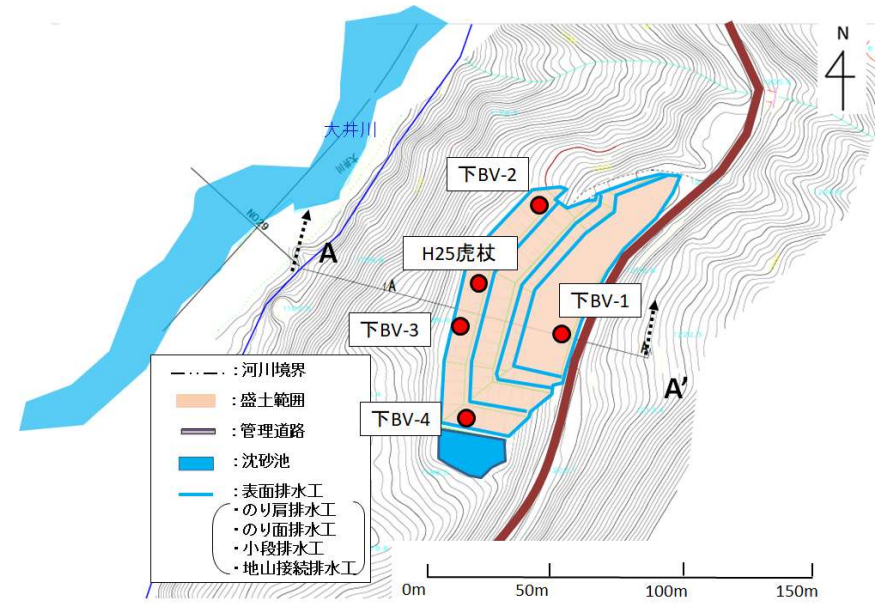


図 2 イタドリ発生土置き場ボーリング位置図

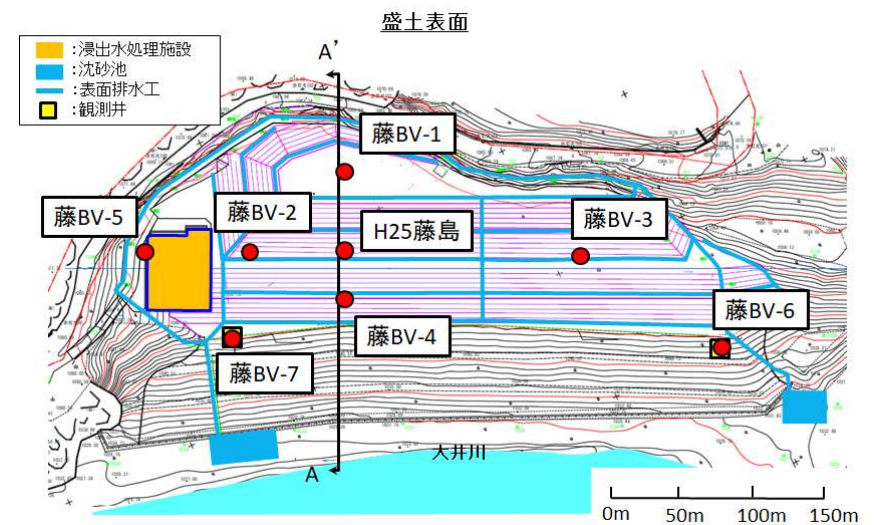


図 3 藤島発生土置き場ボーリング位置図

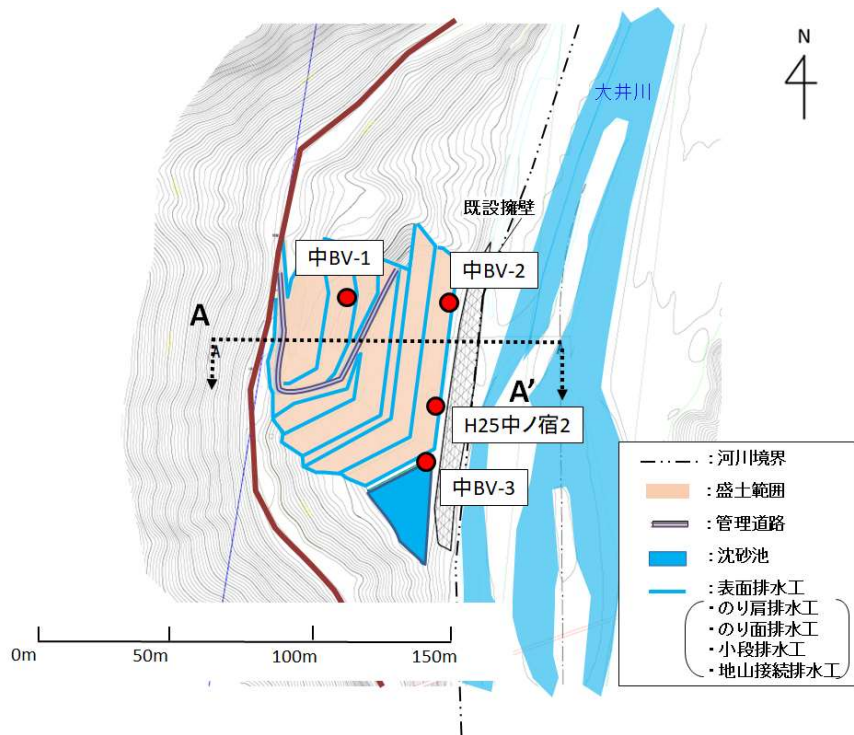


図 4 中ノ宿2発生土置き場ポーリング位置図

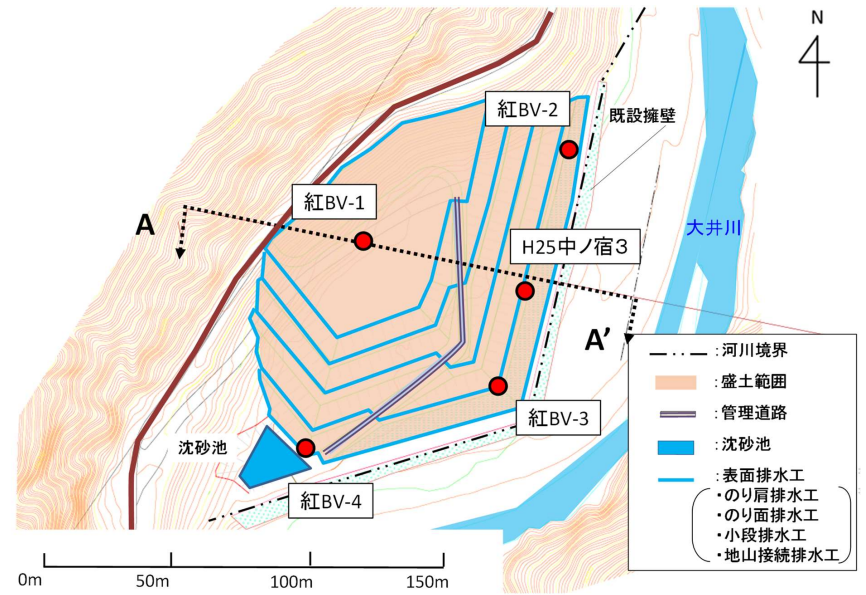


図 5 中ノ宿3発生土置き場ポーリング位置図

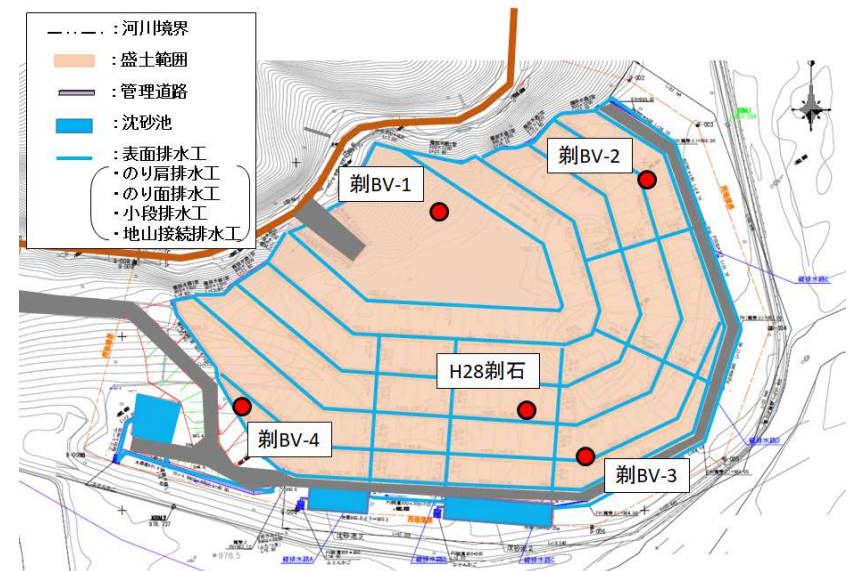


図 6 刺石発生土置き場ポーリング位置図

2) 各発生土置き場におけるボーリング結果

〈ツバクロ発生土置き場〉

- ・主となる玉石砂礫層は、玉石等の巨礫を主体とした地質で構成され、標準貫入試験によるN値は大半が50以上で局所的に30程度を示す部分もあります。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・一方で、N値が10程度の低い値を示す地質も一部確認されており、H25ツバクロにて地表部に約2.5mの厚さで人工的な埋土層が存在していること、燕BV-1にて地上から約11～12.5mの区間で液状化する可能性がある粘性土質礫層が挟在していることが分かったため、当該層を考慮した安定検討を実施します。

〈イタドリ発生土置き場〉

- ・主となる玉石砂礫層は、玉石等の巨礫を主体とした地質で構成され、標準貫入試験によるN値は30～50程度となっております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

〈藤島発生土置き場〉

- ・既設盛土より以深は河床堆積物と崖錐堆積物を主とする層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・一方、既設盛土の一部の地層で地耐力の弱い層が確認されており、地盤改良を実施することで必要な強度を満足する計画とします。

〈中ノ宿2発生土置き場〉

- ・表層から30m程度、玉石混じりの砂礫層が続きます。そのうち表層から5m程度はN値10程度の層ですが、5m以深は河床堆積物と崖錐堆積物を主とする層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

〈中ノ宿3発生土置き場〉

- ・中ノ宿2発生土置き場と同様に、表層から30m程度、玉石混じりの砂礫層が続きます。そのうち表層から5m程度はN値10程度の層ですが、5m以深は河床

堆積物と崖錐堆積物を主とする層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。

- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

〈剝石発生土置き場〉

- ・主に河床堆積物と崖錐堆積物を主とする玉石混じりの砂礫層により構成され、標準貫入試験によるN値はおおむね50を超えております。その下は岩盤（粘板岩）が構成され、堅硬な地盤となっています。
- ・発生土置き場の設計に特別な考慮が必要な弱層等は確認されておりません。

3) ボーリング柱状図・地質断面図

- ・各発生土置き場の柱状図及びツバクロ発生土置き場の地質断面図をそれぞれ次ページ以降に添付いたします。

ボーリング柱状図 (H25ツバクロ)

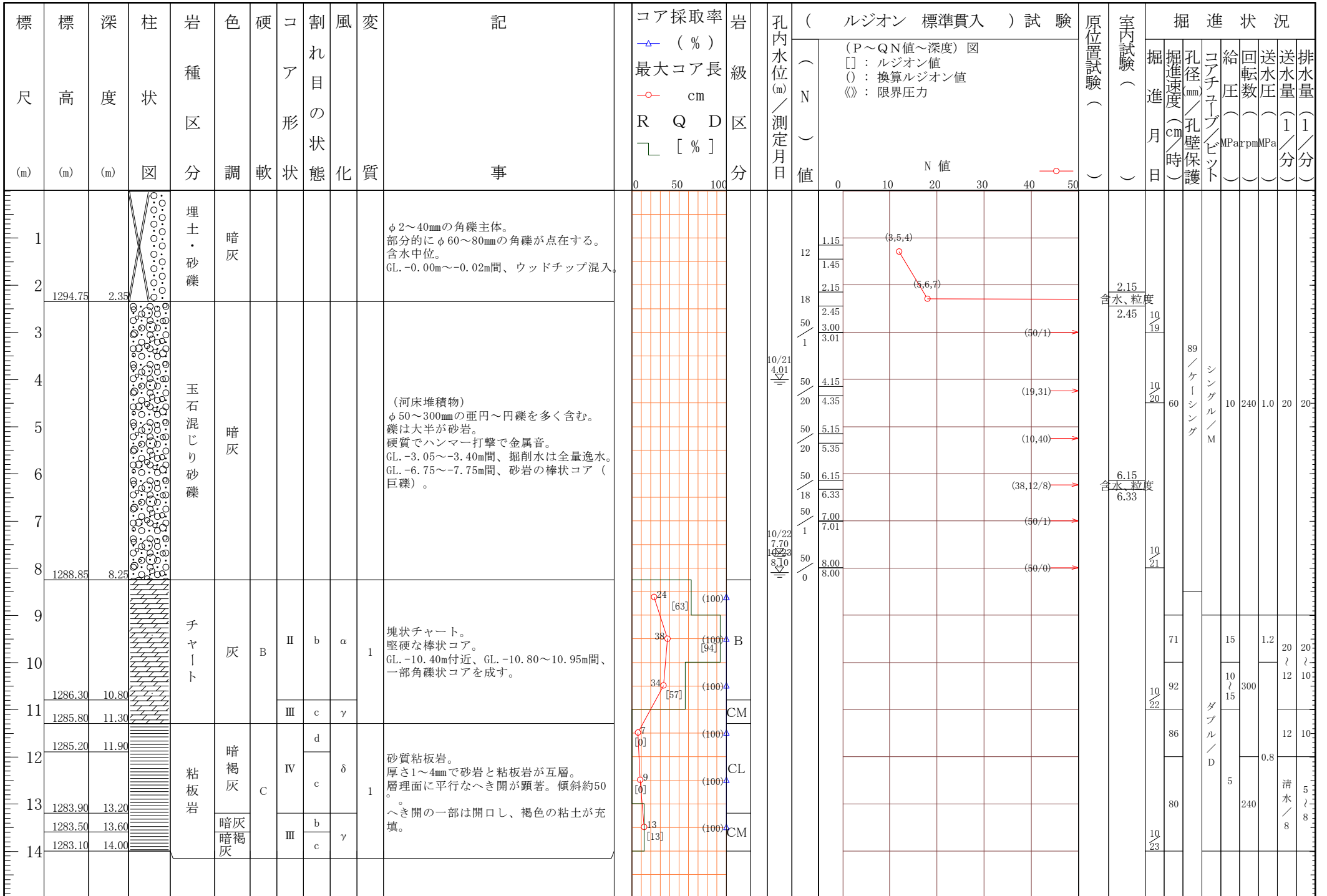
調査名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H25ツバクロ	調査位置	静岡市葵区内			北緯	35° 28' 39.13"			
発注機関		調査期間	平成 25年 10月 19日 ~ 25年 11月 23日			東経	138° 13' 56.3"			
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	1297.1m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	D0-D	
総掘進長	14.00m	度	0°	向		エンジン	ヤンマー製 NFD90	ポンプ	BG-3C	



ボーリング柱状図 (燕 BV-C)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	燕 BV-C		調査位置	静岡県葵区田代さわら島地内			北緯	35° 28' 30.41"		
発注機関				調査期間	平成 29年 6月 28日 ~ 29年 7月 6日		東経	138° 13' 53.16"		
調査業者名				主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	1286.034m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 YBM-05 エンジン NS75	ハンマー落下用具 半自動落下 ポンプ MS-154A
総掘進長	15.00m	度	0°	向						

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進)				
									深	10cmごとの打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値				深	試験名および結果	深	試料採取番号
(m)	(m)	(m)						事	(m)	0	10	20	30	(m)	(m)	号	法	月	日	
1285.63	0.40	0.40		埋土・碎石	暗灰			φ20~50mmの碎石。	7/3 1.15	5	5	12	22							
1285.23									7/3 1.45	50			50							
1284.83									7/3 2.05	9			9							
1284.43									7/3 2.14											
1284.03									7/3 3.15	16	13	11	40							
1283.63									7/3 3.45	50			50							
1283.23									7/3 4.00	4			4							
1282.83									7/3 4.04											
1282.43									7/3 5.15	13	13	16	42							
1282.03									7/3 5.45	50			50							
1281.63									7/3 6.00	1			1							
1281.23									7/3 6.01											
1280.83									7/3 7.05	50			50							
1280.43									7/3 7.06	1			1							
1280.03									7/3 8.15	7	13	25	45							
1279.63									7/3 8.45	50			50							
1279.23									7/3 9.05	7			7							
1278.83									7/3 9.12											
1278.43									7/3 10.15	50			50							
1278.03									7/3 10.22	7			7							
1277.63									7/3 11.00	50			50							
1277.23									7/3 11.05	5			5							
1276.83									7/3 12.00	50			50							
1276.43									7/3 12.07	7			7							
1276.03									7/3 13.00	4			4							
1275.63									7/3 13.04											
1275.23									7/3 14.00	50			50							
1274.83									7/3 14.05	5			5							
1274.43									7/3 15.00	50			50							
1274.03									7/3 15.03	3			3							

土質ボーリング柱状図 (燕BV-1)

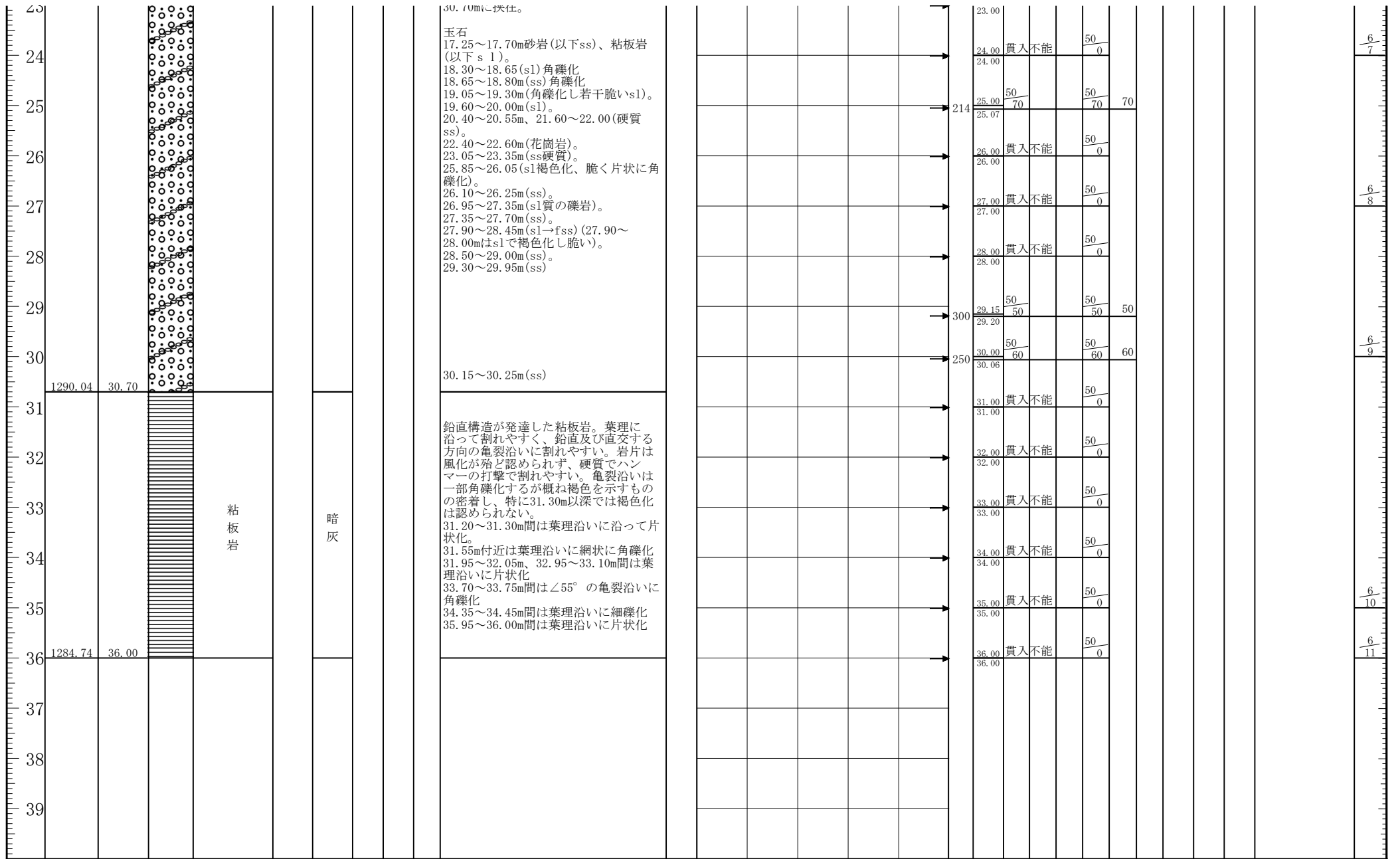
調査名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	燕BV-1		調査位置	静岡県静岡市葵区 燕沢		北緯	35° 28' 42"	
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経	138° 14' 5"	
調査業者名			主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	T. P. 1320.74m	角 度	180° ↑ 90° ↓	方位	北↑ 0° 270°西 90°東 180°南 0°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種
総削孔長	30.00m				試錐機	鉦研製OP-1		エンジン
						ポンプ	ヤンマーCP-30	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日									
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量															
1					暗褐					0.00~0.50m腐植土。	05/30 1.02																				
2										径200mm以上の玉石を含む砂礫。 径200mm以上の玉石は2~3mに1~2個程度。 礫種は粘板岩細~中粒礫岩で、粘板岩も比較的しっかりしたものが多く。 砂岩礫は硬質。 粘性土分(黄褐色)も多く含有し、極めて不均質。 礫率80%以上(見た目岩砕)。 礫種は70%以上が片状角礫粘板岩、砂岩20~25%他、緑色岩片を含むほぼ角礫主体で垂円礫は数~10%ほど。 礫径もばらつきが大きく、5~60mmでほとんど淘汰されていない。	06/09 66.91																				
3										3.75~4.00m: 硬質細砂岩片。																					
4										4.00~4.30m: 亀裂性粘板岩5cmほどに割れ、数10mm~30mm																					
5										4.30~4.40m: 褐色砂岩礫																					
6										4.70~5.00m: 径50~100mm大の砂岩、粘板岩、礫岩の角礫																					
7										8.75~8.95m: 粘板岩岩片(硬質)。																					
8										9.30~10.00m: 細粒砂岩、粘板岩互層片(粘板岩が割れて10~30mmの角礫状)。																					
9																															
10	1310.64	10.10								玉石の混入少ない砂礫主体。																					
11	1309.74	11.00		砂礫						含水率が著しく高い礫混じりシルト~粘土主体																					
12	1309.24	11.50		シルト						最大10cmの玉石混じり砂礫																					
13	1308.74	12.00		玉石混じり砂礫						含水率が著しく高い礫混じりシルト~粘土主体																					
14	1308.24	12.50		シルト																											
15										径200~700mmの玉石を不規則に含む不均質な砂礫。 玉石は17.26m以浅より大型化また含有率も高い。 玉石は1mに、2、3~5個程度と多く、概ね硬質。 玉石は、粘板岩、砂岩、緑色岩が同程度に混入。	06/08 14.50																				
16										粘板岩は風化し若干褐色したものが多く、脆く、細かく割れたものが多く認められる。	15.76																				
17										砂礫は礫分多く、礫率50%以上。 礫種は片状の粘板岩片が多く、70%以上。砂岩が20~25%、若干のチャートと緑色岩片を含む(数%以下)、不均質で5~60mm径の角礫~垂円礫が数%程度。基質は少なく細~粗砂混じりの砂質シルトで不均質。 黄褐色の粘性土が目立つ部分がある。	06/10 17.07																				
18											06/09 18.21																				
19											06/09 20.40																				
20											06/09 20.80																				
21																															
22										黄褐色粘土は、17.70~18.00m、19.40~19.60m、20.00~20.40m、20.90~21.00m、21.30~21.50m、22.30~22.40m、20.60~20.65m、25.40~25.50m、26.25~26.30m、30.05~30.70mに挟在。																					
23										玉石 17.25~17.70m砂岩(以下ss)、粘板岩																					

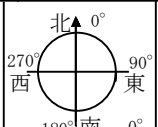
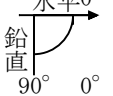


土質ボーリング柱状図（燕BV-2）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		燕BV-2		調査位置		静岡県静岡市葵区 燕沢		北緯		35° 28' 37"	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経		138° 13' 59"	
調査業者名		主任技師		現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高		T. P. 1300.43m		方位				使用機種		試錐機 鉦研製OP-1	
総削孔長		27.00m		地盤勾配				エンジン		ヤンマーNFAD12	
								ポンプ		ヤンマーCP-30	

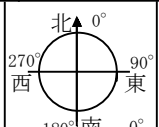
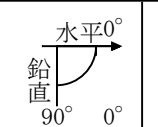
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日				
												N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法
1											05/16 6.87	1.00	貫入不能	50	0							5/16	
2											05/24 4.11	2.00	50	50	50	50							5/17
3											05/18 5.43	3.00	30	30	30	30							5/18
4											05/20 6.37	4.00	50	50	50	50							5/18
5											05/24 8.18	5.15	6	16	28	50	230	230					5/19
6				玉石混じり砂礫							05/24 8.18	6.15	10	11	9	30	300						5/19
7											05/24 8.18	7.15	10	12	15	37	300						5/19
8											05/24 8.18	8.15	4	1	45	50	230	230					5/19
9											05/24 8.18	9.00	50	50	50	50	50						5/19
10											05/24 8.18	10.00	50	50	50	50	50						5/19
11											05/24 8.18	11.15	50	80	50	80	80						5/20
12											05/24 8.18	12.00	貫入不能	50	0								5/20
13											05/24 8.18	13.00	30	30	30	30							5/20
14											05/24 8.18	14.00	50	50	100	100							5/20
15	1285.43	15.00		砂礫							05/24 8.18	15.15	9	9	9	27	300						5/21
16	1284.43	16.00									05/24 8.18	16.15	21	29	60	50	160	160					5/21
17				玉石混じり砂礫							05/24 8.18	17.15	32	18	20	50	120	120					5/21
18											05/24 8.18	18.00	貫入不能	50	0								5/21
19											05/24 8.18	19.15	50	90	50	90	90						5/23
20	1279.93	20.50									05/24 8.18	20.15	13	18	19	50	240	240					5/23
21											05/24 8.18	21.00	14	36	70	50	170	170					5/24
22				粘板							05/24 8.18	22.00	貫入不能	50	0								5/24
23											05/24 8.18	23.00	貫入不能	50	0								5/24
24											05/24 8.18	24.00	貫入不能	50	0								5/24

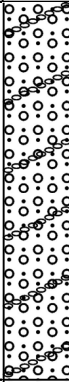









土質ボーリング柱状図（燕BV-3）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		燕BV-3		調査位置		静岡県静岡市葵区 燕沢		北緯		35° 28' 30"	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経		138° 13' 59"	
調査業者名		主任技師		現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高		T. P. 1295.72m		方位				使用機種		試錐機 鈦研製OP-1	
総削孔長		16.00m		地盤勾配				エンジン		ヤンマーNFAD12	
								ポンプ		ヤンマーCP-30	

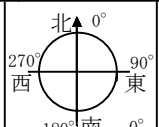
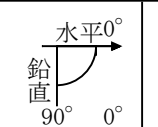
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内位置試験	削孔月日					
												深度 - N値図									深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1				玉石混じり砂礫		暗灰				0.00~0.25m: 腐植物多く、草木根混入。最大径300mmの粘板岩や緑色岩、砂岩等の玉石を含む不均質な砂礫。深度2m中に2~3個程度、岩種は粘板岩50%、緑色岩25%、砂岩20%程度不規則に混入。砂礫は5~30mm主体、最大径70mm。概ね角礫だが径10mm以下は円礫~亜円礫主体。礫率45~60%で、淘汰悪く不均質。礫種は扁平化した粘板岩70%、緑色岩20%、砂岩10%程度。基質は細礫、粗砂混じり砂質シルトで極めて不均質。	05/17 1.43	26	1.15	8	10	8	26	300	50					5/16	
2				砂礫		暗褐				玉石の混入少ない砂礫。基質は上下層と変化なし。	05/21 4.90	300	2.15	50	50	50	50	50				5/17			
3				玉石混じり細礫		暗灰				最大径300mmの粘板岩や緑色岩、砂岩等の玉石を含む不均質な砂礫。深度2m中に2~3個程度、岩種は粘板岩50%、緑色岩25%、砂岩20%程度不規則に混入。砂礫は5~30mm主体、最大径70mm。概ね角礫だが径10mm以下は円礫~亜円礫主体。礫率45~60%で、淘汰悪く不均質。礫種は扁平化した粘板岩70%、緑色岩20%、砂岩10%程度。基質は細礫、粗砂混じり砂質シルトで極めて不均質。	05/20 8.20	43	3.15	25	9	9	43	300	180					5/18	
4				粘板岩		暗褐灰				9.25~9.35m間、玉石が角礫化し、基質は細粒分少なく中砂。 10.55~10.90m: 若干礫率、礫径ともに少。礫率45%前後。 φ0.5~10cm主体。基質や礫種等変わらず。	05/18 5.54	83	4.15	26	24	50	180	180					5/19		
5	1290.72	5.00		砂礫		暗褐				高角度の葉理が発達した粘板岩~砂質粘板岩。厚さ0.10~0.50mの細粒砂岩層が発達。 11.80m以深は、風化は認められず、硬質コア長30cm以上の棒状。 11.30~11.40m間は、特に風化強く、コア角礫状に土砂化。角礫も脆く指圧で碎ける。 11.40~11.80m間は、葉理で分離しコア片状化岩芯部まで風化し、ハンマーの軽打で砕け、亀裂沿いの褐色風化も認められる。 11.80m以深は、葉理構造鉛色となり、極めて良好。コア硬質長棒状。 12.90m以浅は、亀裂表面が若干褐色化しているが、岩片は未風化硬質。ハンマーの強打で割れる程度。	05/20 6.30	24	5.15	9	7	8	24	300	160	160					5/20
6	1289.72	6.00		玉石混じり細礫		暗灰					05/20 8.20	94	6.16	7.00	50	50	50	50					5/21		
7				粘板岩		暗灰						300	7.06	50	50	50	50	50							
8				粘板岩		暗灰						500	8.00	50	30	50	30	30							
9				粘板岩		暗灰						750	8.03	50	20	50	20	20							
10				粘板岩		暗灰						750	9.00	50	20	50	20	20							
11	1284.82	10.90		粘板岩		暗灰						375	9.02	50	40	50	40	40							
12	1283.92	11.80		粘板岩		暗灰						250	10.00	50	20	50	20	20							
13				粘板岩		暗灰							11.04	11.00	40	50	40	40							
14				粘板岩		暗灰							12.00	12.00	60	50	60	60							
15				粘板岩		暗灰							13.00	13.00	0	50	0	0							
16	1279.72	16.00		粘板岩		暗灰							14.00	14.00	0	50	0	0							
17				粘板岩		暗灰							15.00	15.00	0	50	0	0							
18				粘板岩		暗灰							16.00	16.00	0	50	0	0							
19				粘板岩		暗灰							16.00	16.00	0	50	0	0							

















土質ボーリング柱状図（燕BV-4）

調 査 名

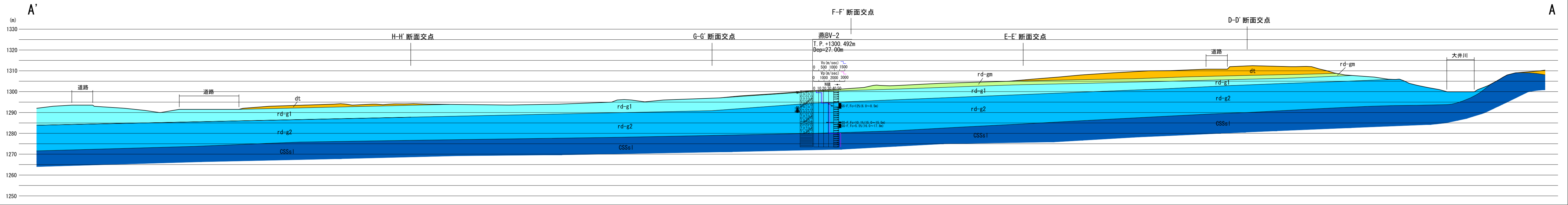
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

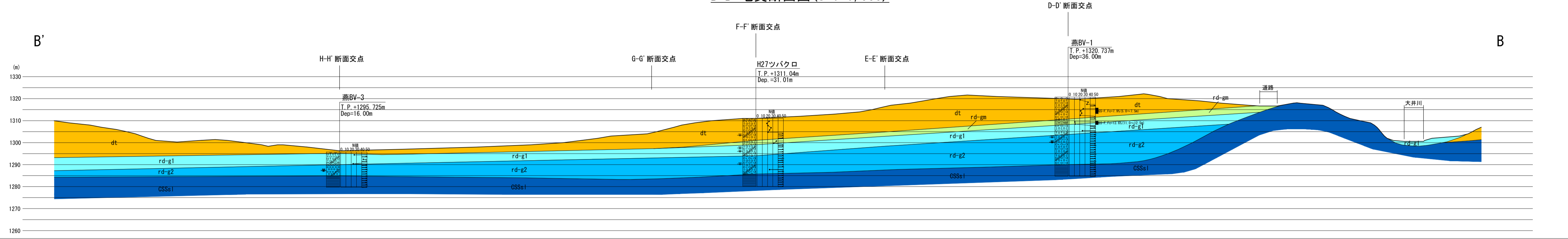
ボーリング名	燕BV-4	調査位置	静岡県静岡市葵区 燕沢	北緯	35° 28' 44"
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所	調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	東経	138° 13' 58"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ ン 定 者		ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔口標高	T. P. 1300.15m	方位		地盤勾配	
総削孔長	15.00m	使用機種	試錐機 鈦研製OP-1	エンジン	ヤンマーNFAD12
			ポンプ	ヤンマーCP-30	

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室 内 試 験	削 孔 日						
												深度 - N値図						深 度 (m)	試 料 番 号			採 取 方 法					
												N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量										
1										径100mm以上の玉石を含む不均質な砂礫。径100~300mm玉石を1mに概ね2~3個含有。玉石はφ100~300mm最大400mm。岩種は礫質な砂岩(50%)、粘板岩(40%)、礫岩(10%)。砂礫は5~40mm主体で、最大径70mm、角礫~亜角礫主体で、亜円礫を10%程度含む。岩種は粘板岩60%、砂岩30%、他緑色岩及びチャートを10%含む。礫はほとんど淘汰されており、極めて不均質。礫は砂岩チャートは硬質だが、粘板岩は軟質化したものが多く、概ねハンマーの軽打で容易に割れ、一部は岩芯まで褐色化している。基質部は、中~粗砂混じりシルト極めて不均質。	06/02 1.80																6/1
2											06/06 4.30													6/2			
3											06/07 0.70																
4											06/07 0.70																
5											06/07 0.70																
6											06/07 0.70																
7											06/07 0.70																
8											06/07 0.70																
9	1291.05	9.10									06/07 0.70																
10											06/07 0.70																
11											06/07 0.70																
12											06/07 0.70																
13											06/07 0.70																
14											06/07 0.70																
15	1285.15	15.00									06/07 0.70																
16																											
17																											
18																											
19																											

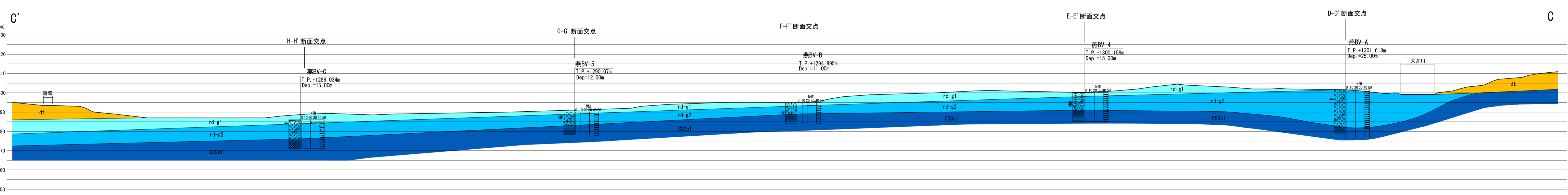
A-A' 地質断面図 (S=1:1,000)



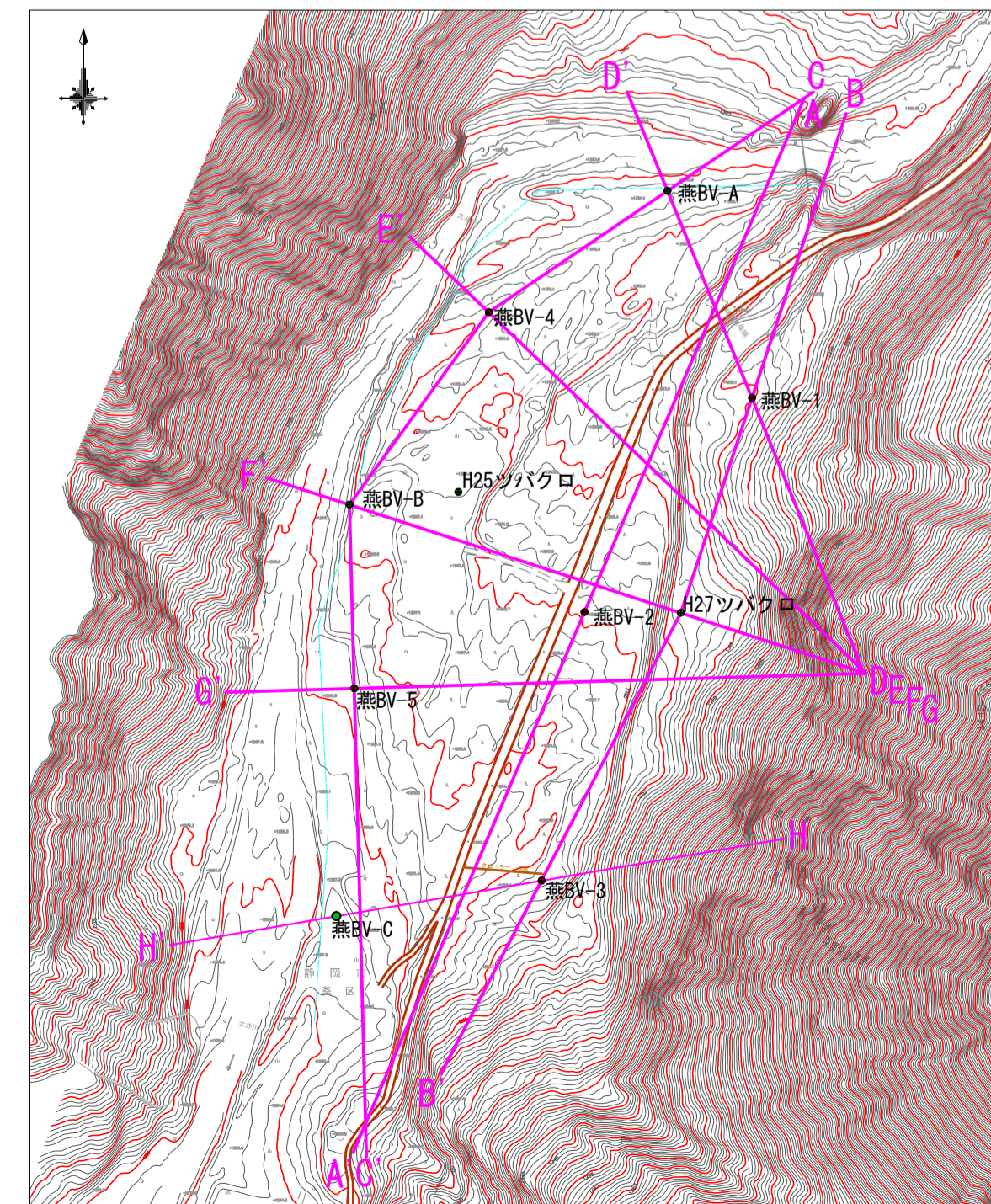
B-B' 地質断面図 (S=1:1,000)



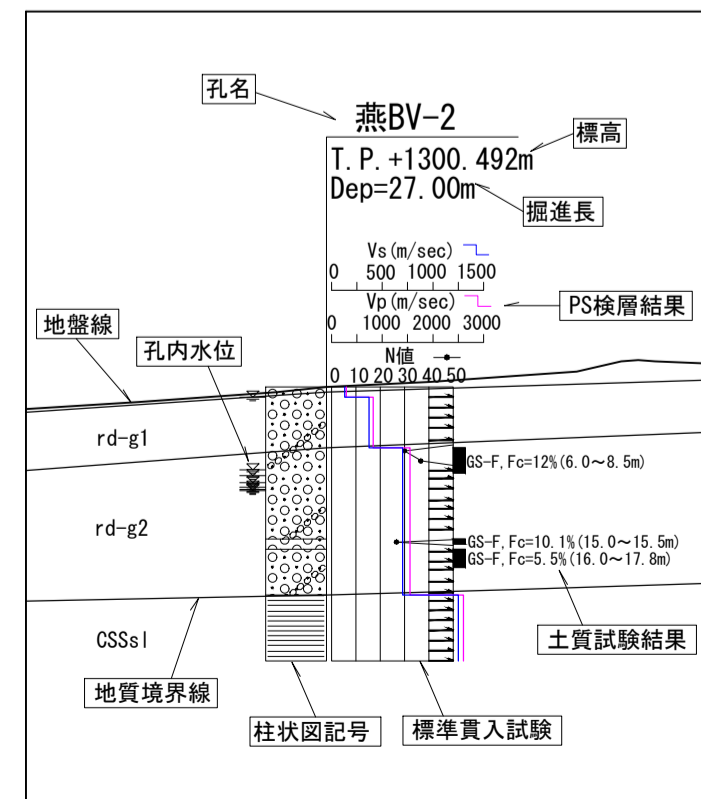
C-C' 地質断面図 (S=1:1,000)



断面位置図 (S=1:4,000)



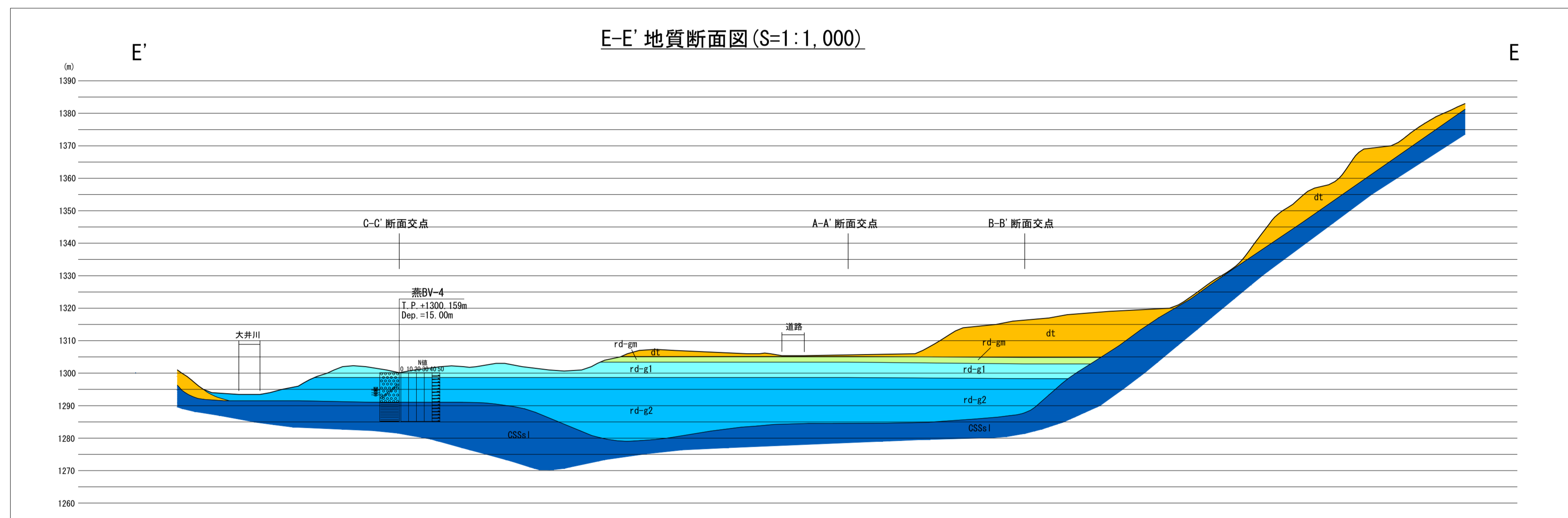
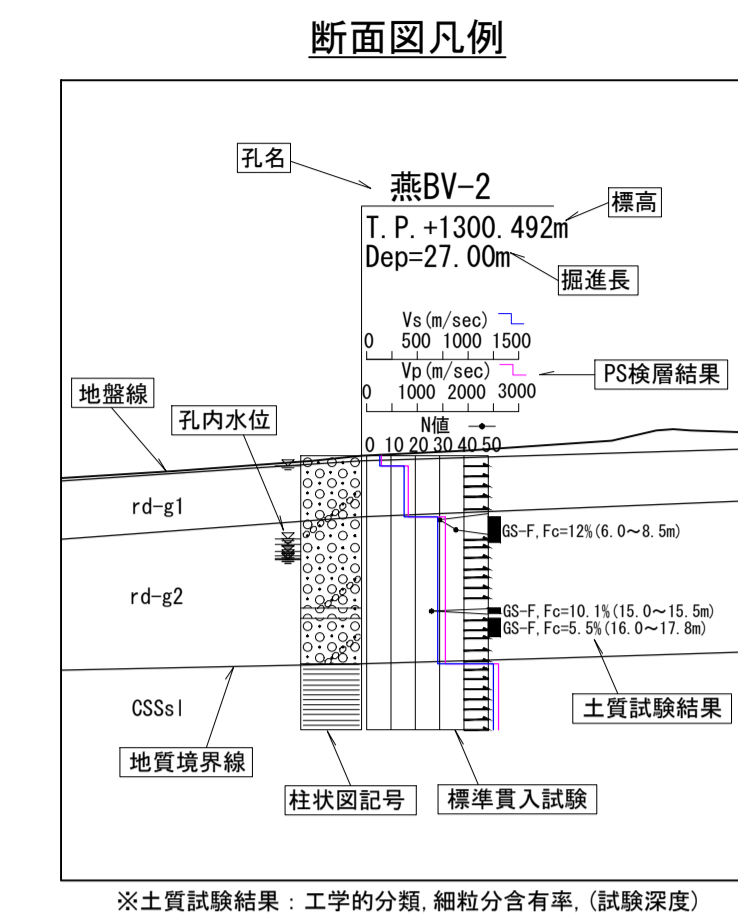
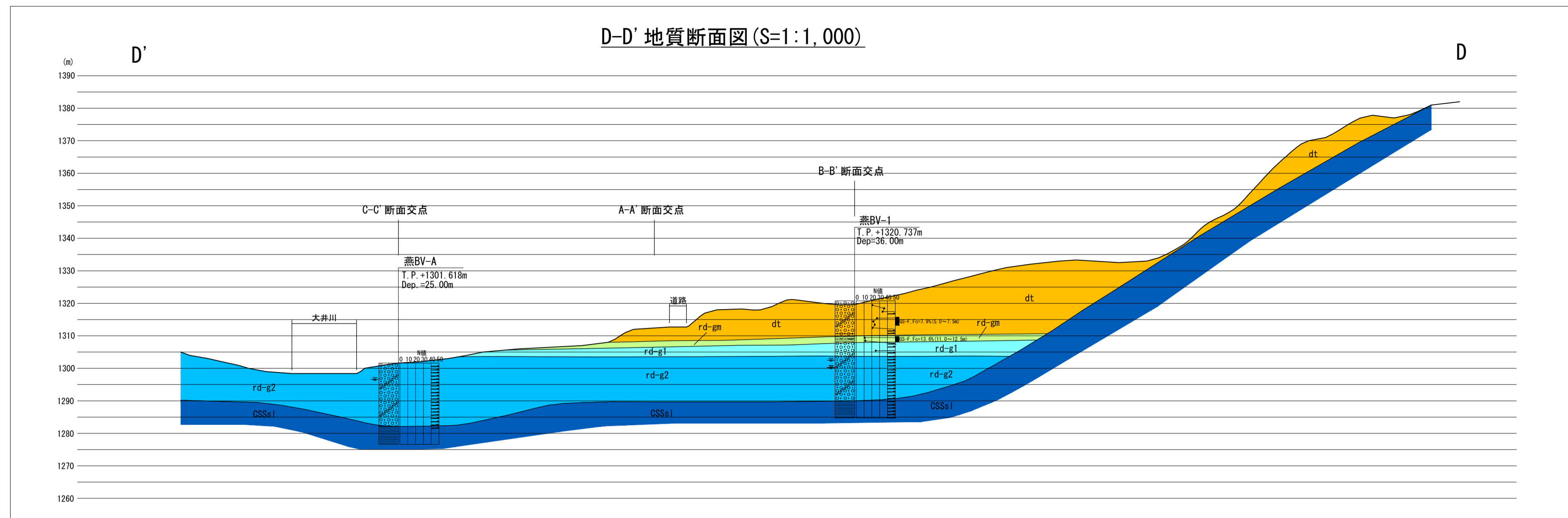
断面図凡例



※土質試験結果：工学的分類、細粒分含有率、(試験深度)

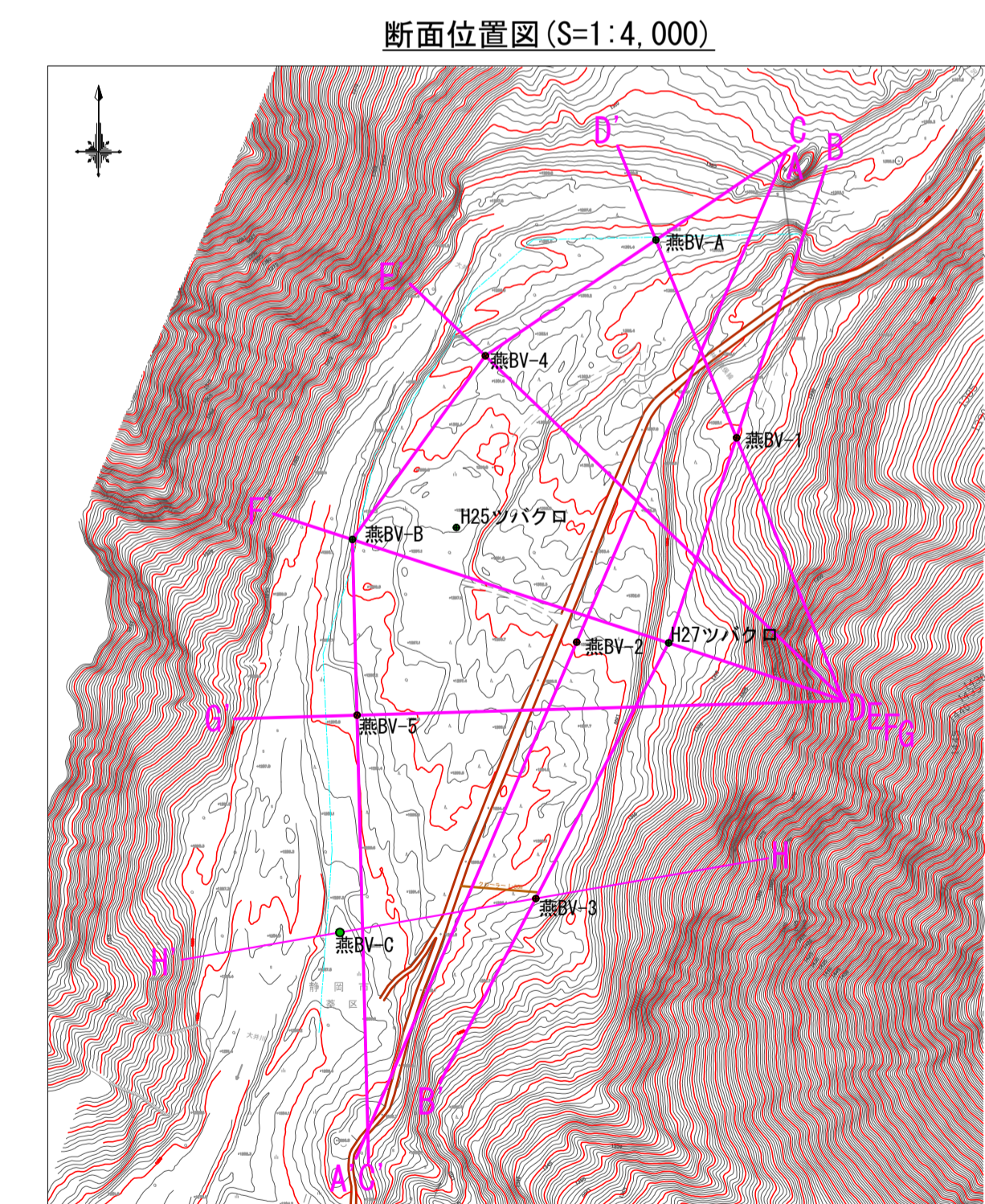
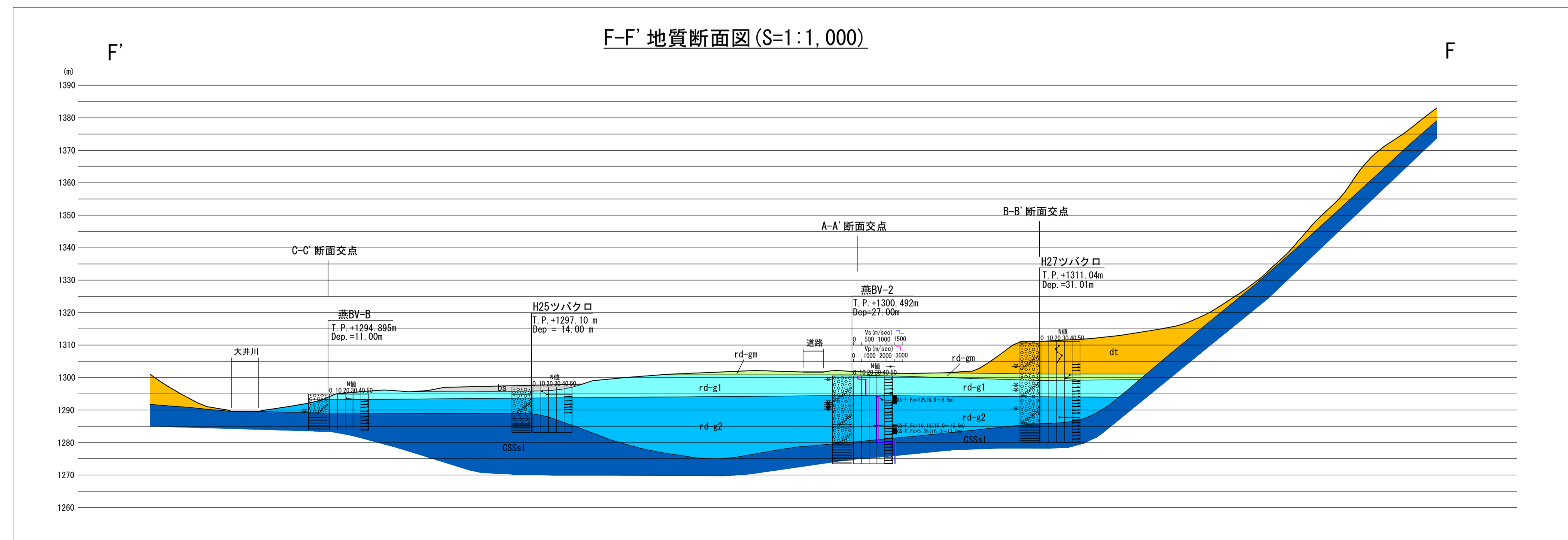
地質構成表 (ツバクロ地区)

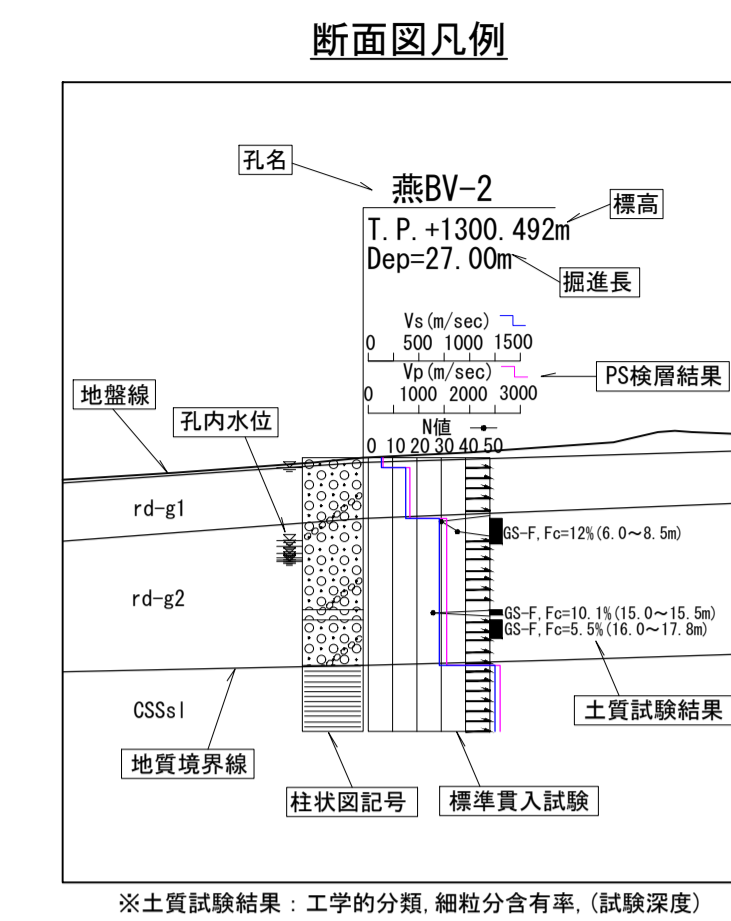
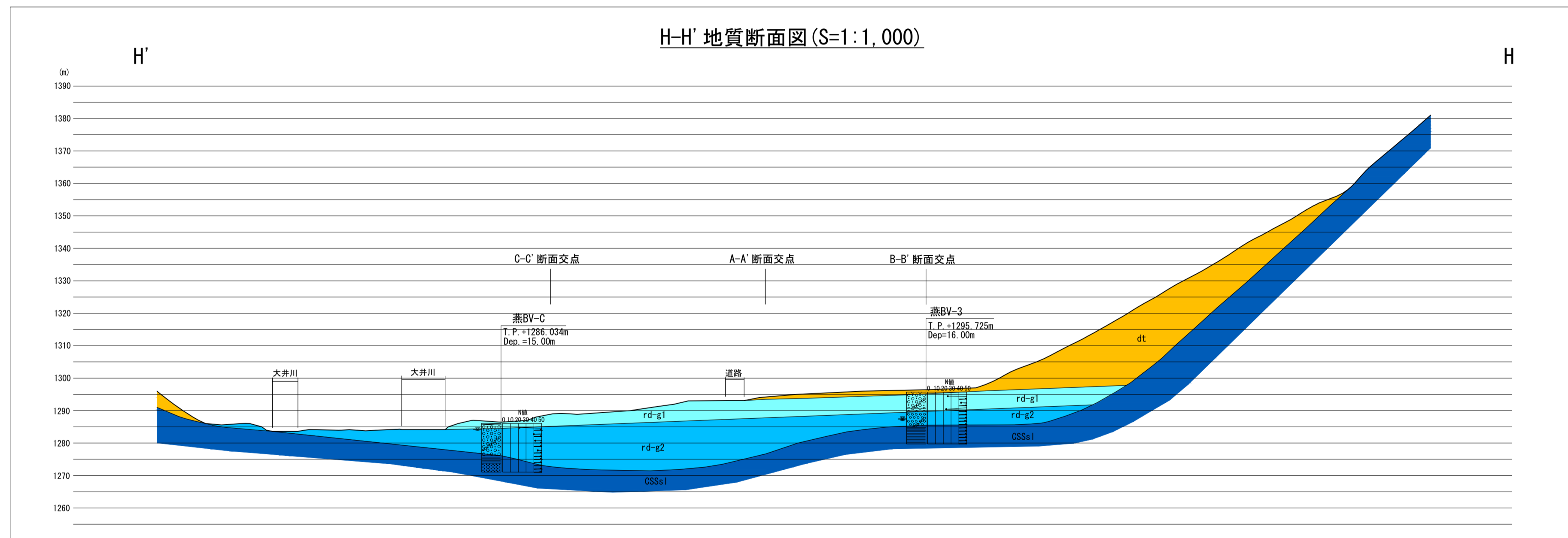
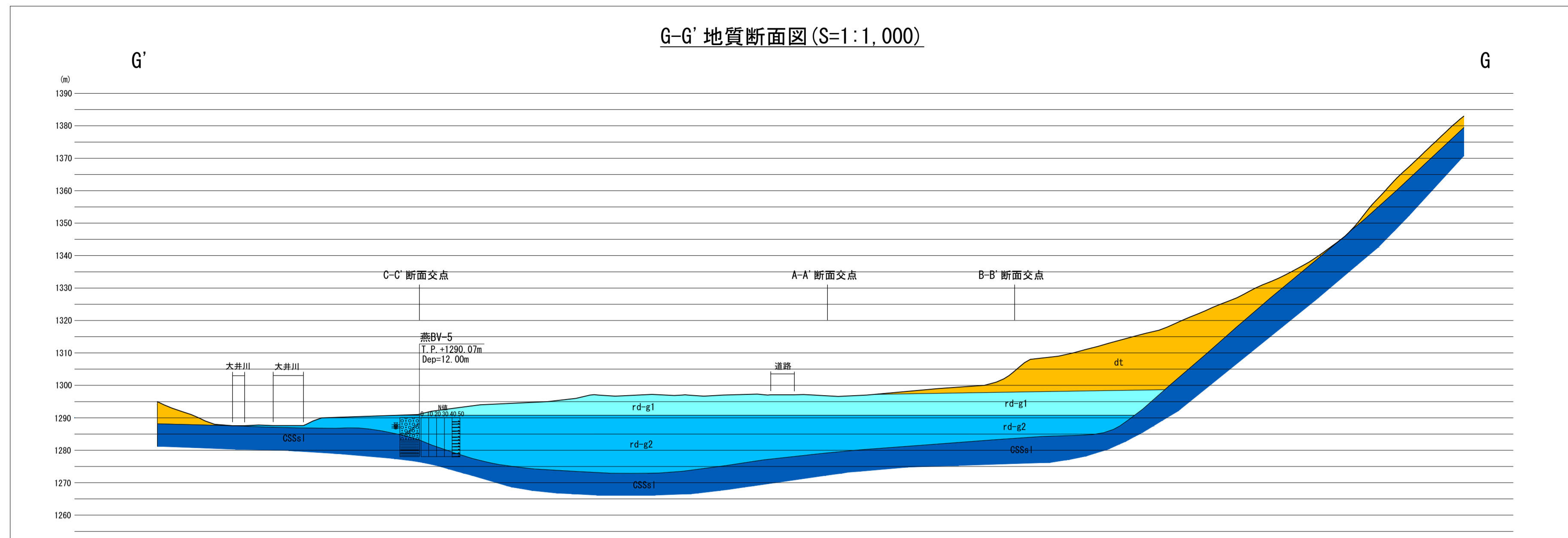
時代区分	地質名	細区分	記号	土質・岩相・N値
第四紀	盛土・埋土		bs	角礫主体の砂礫からなり、N値は概ね20以下の中位に密に締まった土層。
		崖錐・沖積錐堆積物	dt	玉石混じり砂礫からなり、N値10~30程度の緩い~中位に密に締まった土層。
	河床堆積物	(粘性土質礫層)	rd-gm	砂礫主体だが基質にシルトや粘土を多く混入し、N値10前後を示すやや緩い土層。
		(玉石砂礫層1)	rd-g1	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の中位に密に締まった土層。
		(玉石砂礫層2)	rd-g2	最大1mを超える玉石を多く混入する砂礫で、N値50以上の密~非常に密に締まった土層。
更新世	段丘堆積物	tr	標高1315m前後の斜面裾の平坦面を構成する可能性があるが、崖錐堆積物に一括した。	
古第三紀~中生代白亜紀	四万十層群白根帯	粘板岩	CSSs1	粘板岩を主体として砂岩やチャートの薄層状在。岩片は非常に硬質だが高角度の劈開に沿った亀裂が発達し、一部は開口性亀裂で細粒分を挟む。



地質構成表 (ツバクロ地区)

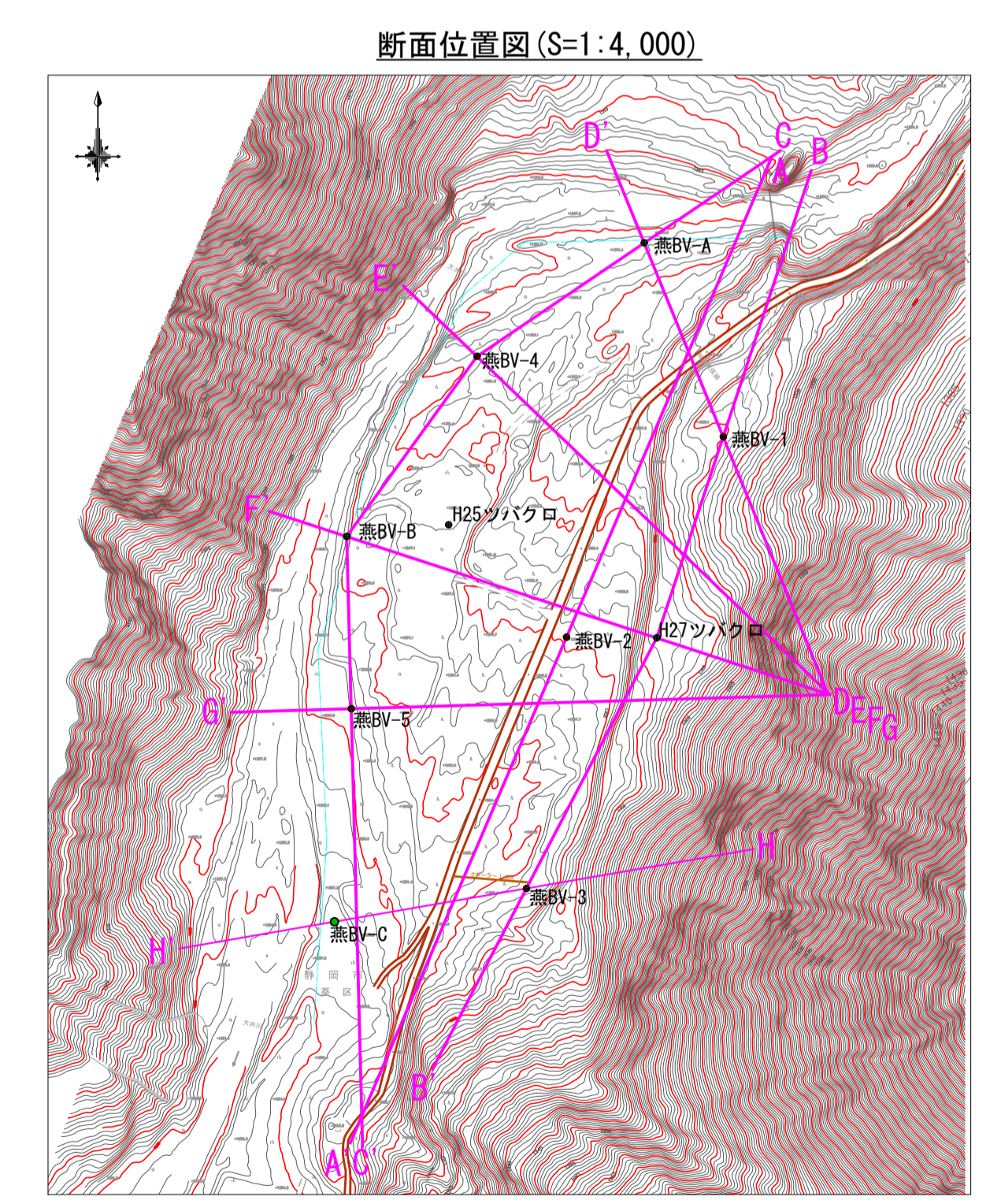
時代区分	地質名	細区分	記号	土質・岩相・N値
第四紀	完新世	盛土・埋土	bs	角礫主体の砂礫からなり、N値は概ね20以下の中位に密に締まった土層。
		崖錐・沖積錐堆積物	dt	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30程度の緩い～中位に密に締まった土層。
	河床堆積物	(粘性土質礫層)	rd-gm	砂礫主体だが基質にシルトや粘土を多く混入し、N値10前後を示すやや緩い土層。
		(玉石砂礫層1)	rd-g1	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の中位に密に締まった土層。
	(玉石砂礫層2)	rd-g2	最大1mを超える玉石を多く混入する砂礫で、N値50以上の密～非常に密に締まった土層。	
更新世	段丘堆積物	tr	標高1315m前後の斜面裾の平坦面を構成する可能性があるが、崖錐堆積物に一括した。	
古第三紀～中生代白亜紀	四万十層群白根帯	粘板岩	CSSs1	粘板岩を主体として砂岩やチャートの薄層狭在。岩片は非常に硬質だが高角度の劈開に沿った亀裂が発達し、一部は開口性亀裂で細粒分を挟む。





地質構成表 (ツバクロ地区)

時代区分	地質名	細区分	記号	土質・岩相・N値
第四紀	完新世	盛土・埋土	bs	角礫主体の砂礫からなり、N値は概ね20以下の中位に密に締まった土層。
		崖錐・沖積堆積物	dt	玉石混じり砂礫からなり、N値10~30程度の緩い~中位に密に締まった土層。
	河床堆積物	(粘性土質礫層)	rd-gm	砂礫主体だが基質にシルトや粘土を多く混入し、N値10前後を示すやや緩い土層。
		(玉石砂礫層1)	rd-g1	玉石混じり砂礫からなり、N値は概ね30以下の中位に密に締まった土層。
		(玉石砂礫層2)	rd-g2	最大1mを超える玉石を多く混入する砂礫で、N値50以上の密~非常に密に締まった土層。
更新世	段丘堆積物	tr	標高1315m前後の斜面裾の平坦面を構成する可能性があるが、崖錐堆積物に一括した。	
古第三紀~中生代白亜紀	四万十層群白根帯	粘板岩	CSSs1	粘板岩を主体として砂岩やチャートの薄層狭在。岩片は非常に硬質だが高角度の劈開に沿った亀裂が発達し、一部は開口性亀裂で細粒分を挟む。



ボーリング柱状図 (H25虎杖)

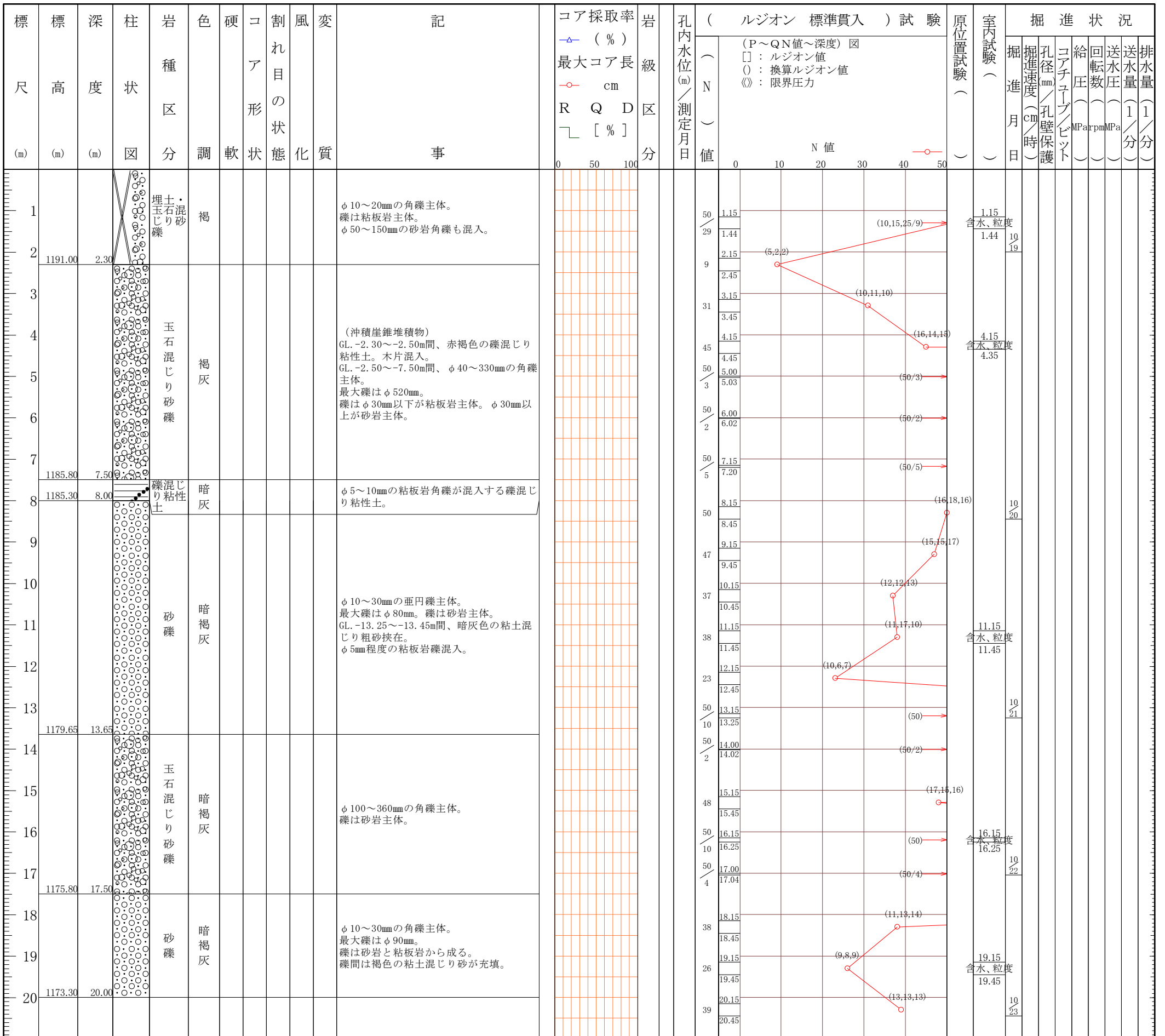
調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H25虎杖	調査位置	静岡市葵区内			北緯	35° 26' 23.6"	
発注機関					調査期間	平成 25年 10月 19日 ~ 25年 10月 23日		
調査業者名	主任技師				現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	1193.3m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種
総掘進長	20.00m				試験機	D0-D		
					エンジン	ヤンマー製 NFD90	ポンプ	BG-3C



土質ボーリング柱状図（下BV-1）

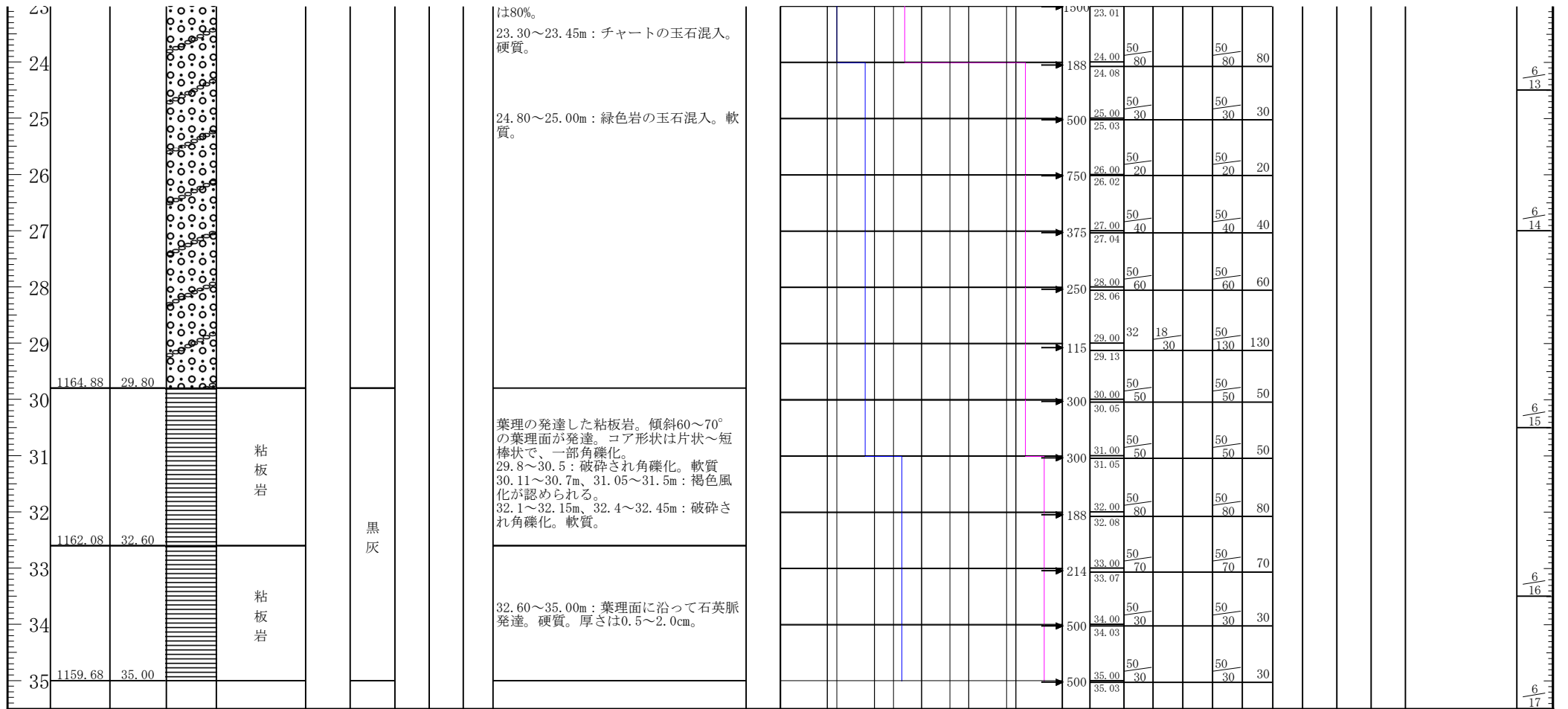
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-1		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1194.68m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	35.00m			試錐機	鉦研OP-1		MS753
				エンジン	ヤンマーNFAD13		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日										
											深度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法						
1										直径10cm以上の玉石を含む不均質な砂礫。玉石は直径10.0~20.00cmを1mに1~2個含有したのを主体とし、最大直径は35.0cmとなる。礫率は全体の30%。礫種は砂岩70%、粘板岩20%、緑色岩チャート10%。0.30~6.40m：厚さ20cm前後の砂岩質の玉石が主体だが、砂礫は小さいものが多く、最大直径7cmとなる。4.45~4.55m、4.80~4.90m：緑色岩の玉石が混入、硬質。	0	10	20	30	40	50	15	1.15	4	6	5	15	300	2.00	下BV-1-1	○	密度・含水・粒度	6/2
2											06/06	3.05	24	2.45	6	8	10	24	300	3.50				6/3				
3											06/04	4.45	35	3.15	8	12	15	35	300	6.00	下BV-1-2	○	密度・含水・粒度	6/4				
4											06/06	4.45	79	4.34	20	30	90	190	190	6.00				6/4				
5											06/09	6.80	188	5.00	50	80	80	80	7.50					6/6				
6											06/10	7.65	33	6.15	9	13	11	33	300					6/6				
7											06/10	7.65	31	7.15	7	13	11	31	300					6/6				
8											06/09	9.20	35	8.45	9	13	13	35	300					6/7				
9											06/09	9.20	38	9.15	11	13	14	38	300					6/7				
10											06/14	10.70	115	10.15	24	26	30	130	130					6/7				
11											06/14	10.70	79	11.15	20	30	90	190	190					6/8				
12											06/10	15.40	42	12.15	10	11	21	42	300					6/8				
13											06/10	15.40	48	13.15	11	17	20	48	300					6/8				
14											06/10	15.40	65	14.15	9	17	24	50	230	230					6/8			
15											06/10	15.40	60	15.15	13	17	20	50	250	250					6/9			
16											06/14	18.70	32	16.15	8	11	13	32	300					6/9				
17											06/14	18.70	48	17.15	13	17	18	48	300					6/10				
18											06/16	18.70	33	18.15	8	9	16	33	300					6/10				
19											06/16	18.70	83	19.15	14	36	80	50	180	180					6/10			
20											06/16	18.70	36	20.15	10	12	14	36	300					6/11				
21											06/16	18.70	188	21.00	50	80	80	80	80					6/11				
22											06/16	18.70	107	22.15	21	29	40	50	140	140					6/11			
23											06/16	18.70	1500	23.00	50	10	10	10	10					6/11				
24											06/16	18.70	80	23.01	50	80	80	80	80					6/11				



土質ボーリング柱状図（下BV-2）

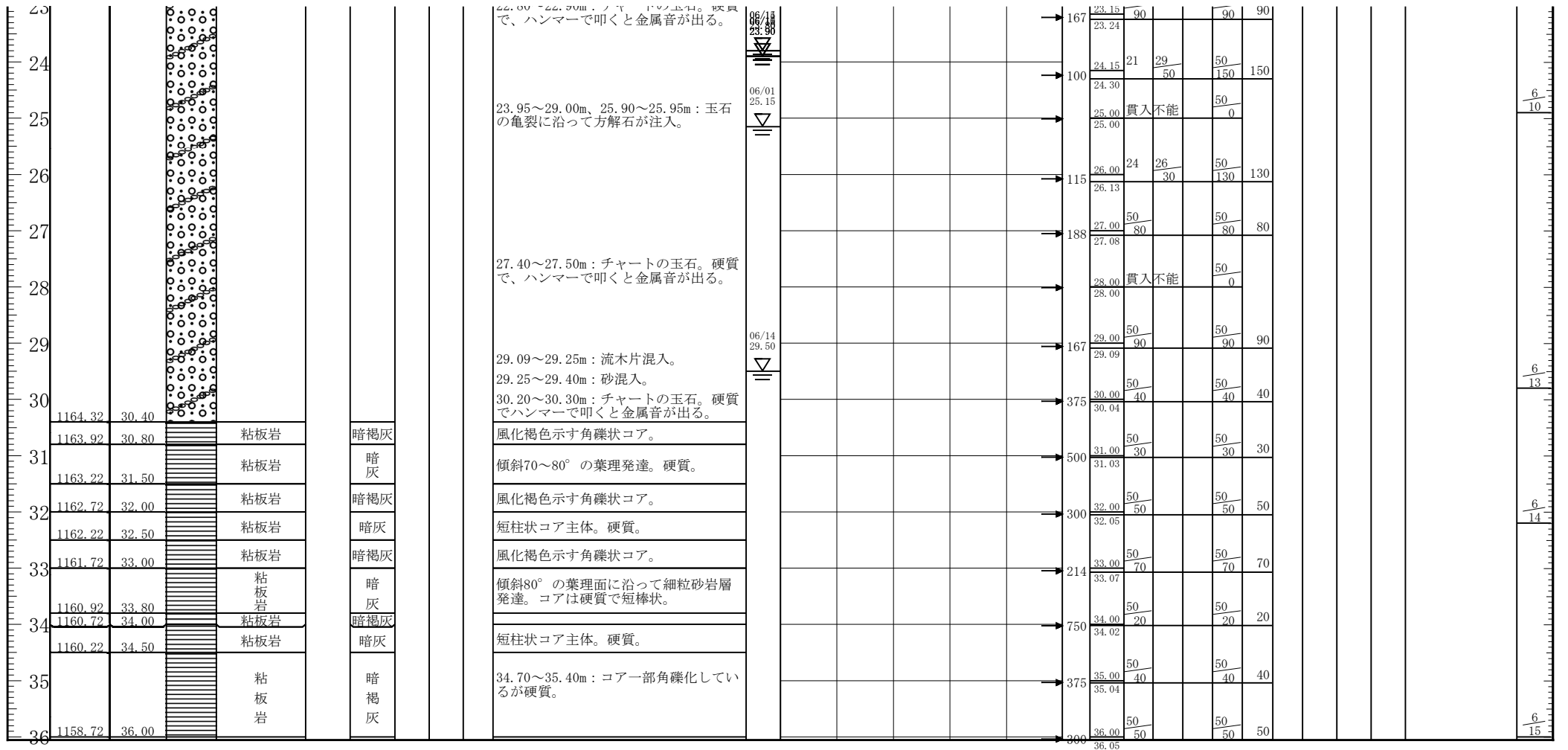
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-2		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1194.72m	角 度	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 東 90° 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	36.00m			使用機種	鉦研OP-1		ヤンマーCP65
				エンジン	ヤンマーNFD12		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日									
												深度 - N値図								深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法	
1										直径10cm以上の玉石を含む不均質な砂礫。玉石は直径8.0~30.0cmを1mに2~3個含有したのを主体とし、最大直径は40.5cmとなる。礫率は全体の40~50%。礫種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩、チャート10%。	06/03 2.60	N	深	100mm	打撃	50回	自沈	深	試料	採取								
2				玉石混じり砂礫		暗灰				砂礫は直径0.50~3.00cmの角礫が主体。直径1.0cm以下は亜角礫。礫率は全体の40%。礫種は粘板岩50%、砂岩40%、チャート10%。基質は細礫粗砂混じり砂質粘板岩。	06/04 4.00	2	1.15	1	2													
3											06/04 4.00	21	2.15	3	8	10	21								6/2			
4											06/04 4.00	35	3.15	8	12	15	35									6/3		
5											06/04 5.50	250	4.00	50	60	50	60											
6											06/04 5.50	75	5.00	貫入不能		50	0											
7											06/06 7.00	63	6.00	19	31	50	200									6/4		
8	1186.72	8.00									06/06 7.00	33	7.15	12	14	24	50	240									6/4	
9				砂礫		暗灰				8.00~10.00m間は玉石の少ない砂礫。礫率は70%前後。礫種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩、チャート10%。基質は細礫粗砂混じり砂質粘板岩。	06/06 11.00	43	8.15	11	12	10	33											
10	1184.72	10.00									06/06 11.00	31	9.15	15	14	14	43										6/6	
11											06/06 11.00	40	10.15	10	10	11	31											
12											06/06 11.00	42	11.15	13	13	14	40											
13											06/06 11.00	107	12.15	13	14	15	42											
14										13.70~13.90m: 玉石、砂礫どちらも褐色風化が認められる。玉石は岩芯まで風化が認められる。	06/07 14.50	94	13.15	25	25	50	140											6/7
15											06/07 14.50	39	14.15	17	33	50	160											
16										15.55m: 厚さ1.0cmのチャート層が混入。	06/08 17.45	42	15.15	9	15	15	39											
17											06/08 17.45	39	16.15	11	14	17	42											
18										19.90~20.00m: 砂岩質の玉石の岩芯に褐色風化が認められる。	06/09 20.70	43	17.15	11	14	14	39											6/8
19											06/09 20.70	36	18.15	14	15	14	43											
20											06/09 20.70	54	19.15	13	12	11	36											
21										20.43~29.80m: 玉石の直径は15.00~30.00cmで、最大40.0cm。礫種は砂岩80%、粘板岩、チャート20%。砂礫の直径は2.0~5.0cm。	06/09 22.70	27	20.15	13	17	20	50	280										
22											06/09 22.70	88	21.15	10	8	9	27											
23										22.80~22.90m: チャートの玉石。硬質で、ハンマーで叩くと金属音が出る。	06/10 23.90	167	22.15	19	31	50	170											6/9
											06/10 23.90		23.15	50	90	50	90											



土質ボーリング柱状図（下BV-3）

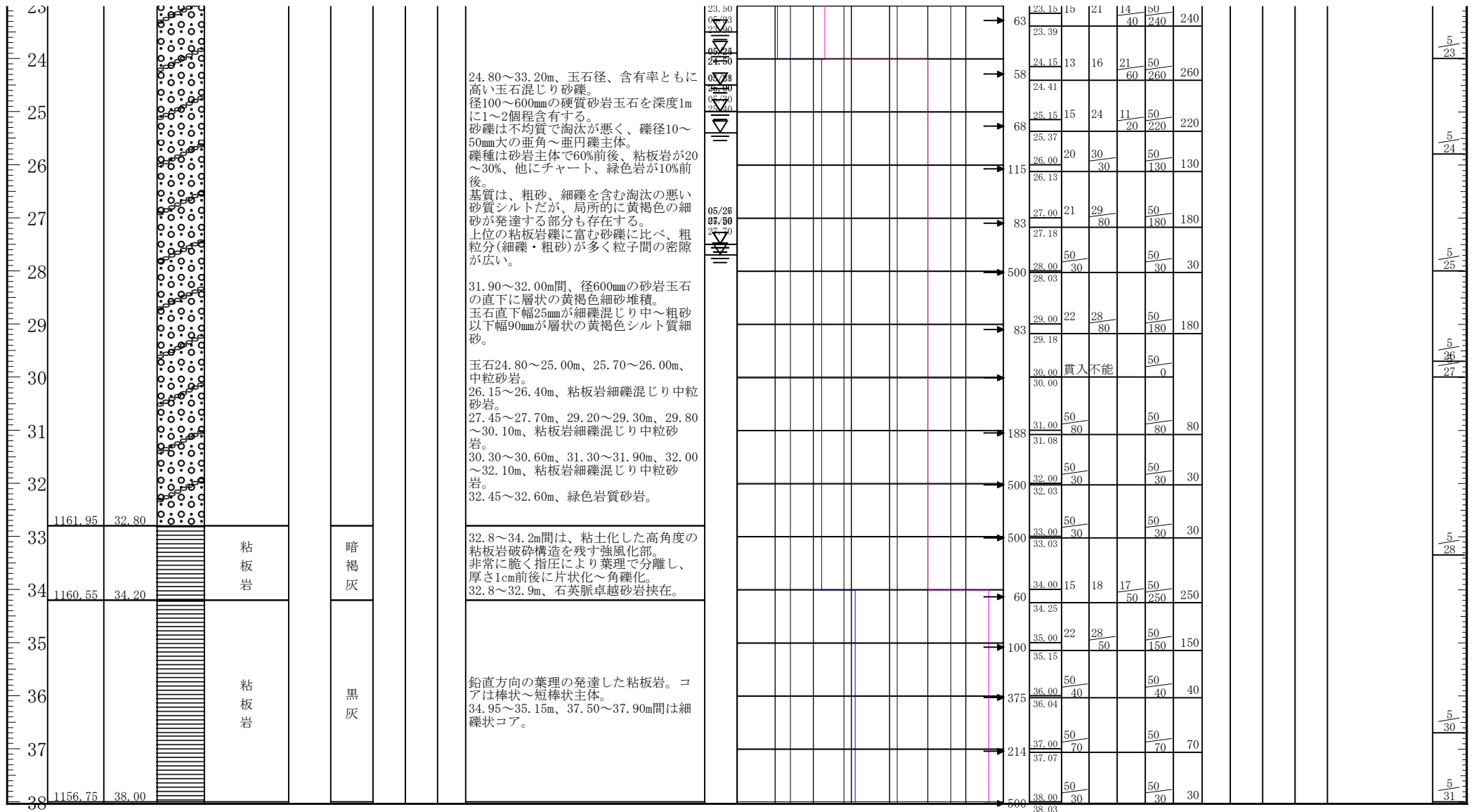
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-3		調査位置				北緯			
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経			
調査業者名				主任技師				現代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者				使用機種		鉦研OP-1		ポンプ		ヤンマーCP65	
孔口標高		T. P. 1194.75m		方位		北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配		水平0° 鉛直 90°	
総削孔長		38.00m		角度		180° 上下 90° 0°		エンジン		ヤンマーNFD12	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	標準貫入試験						試料採取	室原位試験	削孔月日											
											深度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				深度 (m)	試料番号	採取方法								
1	1194.35	0.40	砂礫	砂礫	暗黄褐					径0.5~30mmの亜円~亜角礫を含む不均質な砂礫。基質は砂質シルト。0.35m付近に靴底ゴム混入。	05/16 1.50	9	1.15	2	4	3	9	300												
2											05/17 2.56	5	2.15	1	2	2	5	300												
3											05/18 3.25	11	3.15	2	4	5	11	300												
4											05/18 4.45	10	4.15	2	2	6	10	300												
5											05/18 5.50	28	5.15	4	11	13	28	300												
6											05/19 6.45	28	6.15	8	9	11	28	300												
7											05/19 7.60	24	7.15	4	10	10	24	300												
8										不規則に玉石が混入する玉石混じり砂礫。0.40~24.80m間は玉石径、含有率ともに低く、24.80~33.20m間は玉石径、含有率とともに高い。33.20~34.25m間は、強風化した粘板岩塊のみで構成される。砂礫は、径10~50mmの砂岩、粘板岩、亜円~亜角礫主体で、基質は淘汰の悪い砂質シルトで、一部黄褐色、砂に富む部分も存在する。	05/19 8.45	34	8.15	12	12	10	34	300												
9											05/19 9.00	375	9.00	50	40	50	40	40												
10											05/19 9.40	25	10.15	5	7	13	25	300												
11										0.40~4.45m間は、径70~150mmの硬質細粒~中粒砂岩、玉石を含む。基質が黄褐色の部分が多く、含水率高く緩い。礫は径5~30mm主体。礫種、砂岩60%、粘板岩40%ほど。基質は淘汰悪く不均質だが、砂分少なくシルトに富む部分の黄褐色化が強い。	05/19 10.45	37	11.15	11	14	12	37	300												
12											05/19 11.45	88	12.15	7	43	50	170	170												
13										4.45~24.80m間、玉石含有率やや低く、粘板岩角礫に富む玉石混じり砂礫。	05/21 13.45	44	13.15	15	14	15	44	300												
14										玉石径もやや小さく、径150mm以下。含有率も低く、深度1~2mに1~2個程度で、ほとんどが硬質な細粒~中粒砂岩で構成。	05/21 14.05	34	14.15	12	11	11	34	300												
15										一方砂礫中の礫は、径5~30mm大の粘板岩角礫主体(60%)で、他に砂岩30%、チャート他が5~10%。不均質で礫率高く、45~60%程度。基質は淘汰の悪い粗砂、細礫混じり砂質シルト。	05/20 14.45	39	15.15	12	13	14	39	300												
16											05/20 15.45	36	16.15	11	12	13	36	300												
17										5.45~5.65m、12.30~12.45m、12.75~12.85m、16.80~16.90m、21.75~21.85m、23.55~23.65mは、硬質な砂岩玉石。	05/28 16.45	68	17.15	18	23	9	50	220	220											
18											05/28 17.37	42	18.15	13	15	14	42	300												
19											05/28 18.45	48	19.15	14	17	17	48	300												
20											05/28 19.45	34	20.15	11	10	13	34	300												
21											05/28 20.45	36	21.15	12	13	11	36	300												
22											05/28 21.45	50	22.15	15	15	20	50	300	300											
23											05/28 22.45	63	23.15	15	21	14	50	240	240											
24											05/28 23.39		23.39																	



土質ボーリング柱状図（下BV-4）

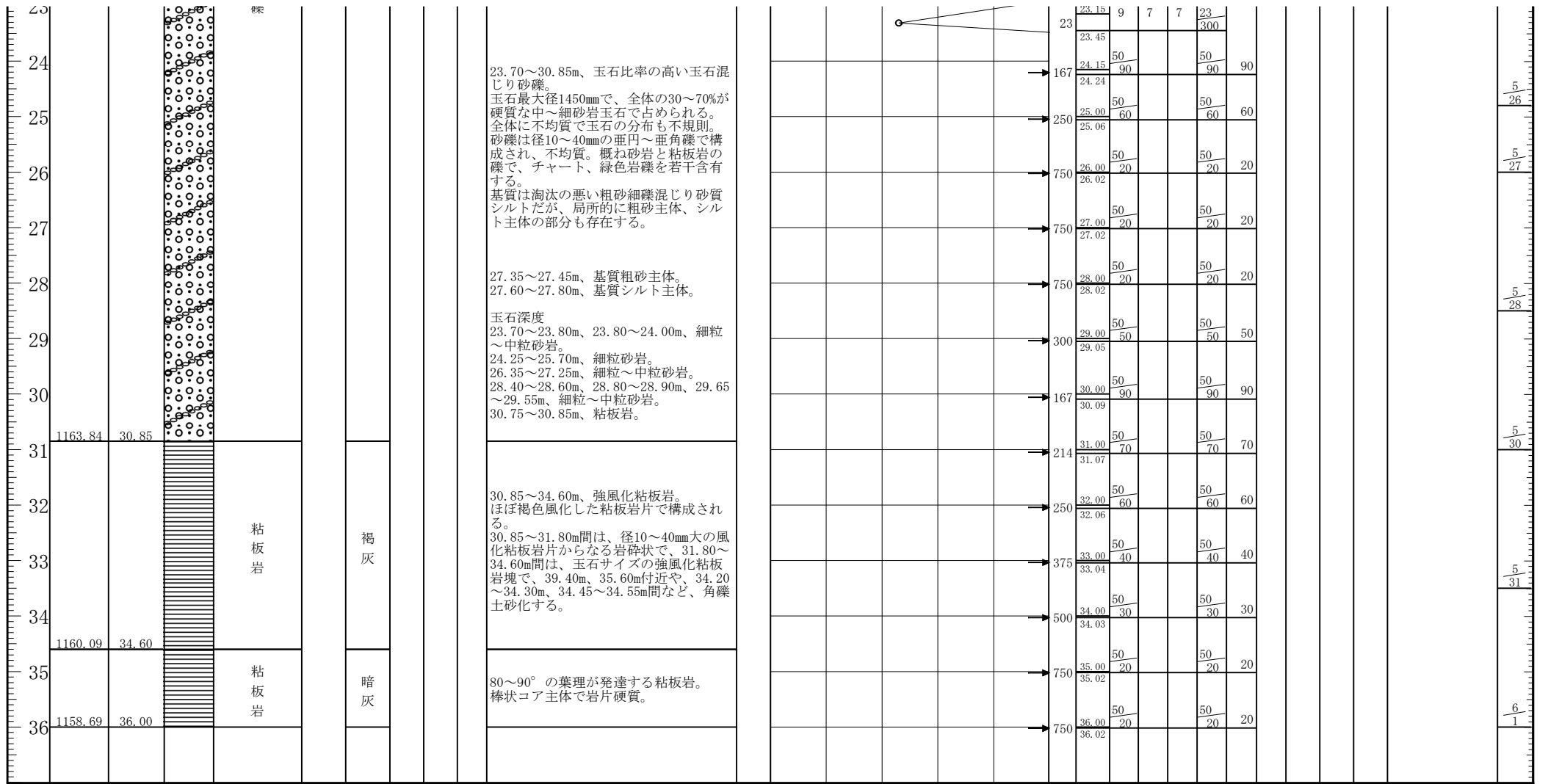
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		下BV-4		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1194.69m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	36.00m			使用機種		試錐機 鉦研OP-1 エンジン ヤンマーNFD13 ポンプ CP-50	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日					
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量											
1			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色				径100~900mmの玉石を不規則に混入する不均質な砂礫。岩種は概ね硬質な細~中粒砂岩だが、一部粘板岩。砂礫は不均質で、全体に礫率が高く、45~60%程度。礫径10~30mm主体で、粘板岩の角~亜角礫45~60%、硬質な細粒砂岩かつ礫30~40%、他チャート緑色岩片が10%内外となる。基質は、不均質な粗砂、細礫混じり砂質シルトで、一部褐色。	05/16 0.60	10	1.15	4	3	3	10										5/16
2			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色				0.00~3.80m間、直径150mm以下の玉石を含む緩い砂礫。基質は暗褐~黄褐色。やや細粒砂岩礫の比率が高い(45%前後)。	05/17 3.60	7	2.15	5	4	1	10									5/17	
3			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/18 4.80	15	3.15	2	5	8	15									5/17	
4			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/18 6.05	31	4.15	7	8	16	31									5/17	
5			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/18 6.55	39	5.15	18	12	9	39									5/17	
6			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/18 6.55	100	6.15	24	26	50	150									5/17	
7	1183.69	11.00	砂礫	砂礫		暗褐色				玉石径5cm以下で砂礫主体。礫種は粘板岩角礫。礫分70%。基質は暗褐色の粗砂細礫混じり砂質シルト。	05/26 7.35	25	7.15	8	8	9	25									5/18	
8			砂礫	砂礫		暗褐色					05/26 8.21	44	8.15	14	12	18	44									5/18	
9			砂礫	砂礫		暗褐色					05/28 8.95	37	9.15	11	13	13	37									5/19	
10			砂礫	砂礫		暗褐色					05/28 8.95	31	10.15	11	12	8	31									5/19	
11	1181.69	13.00	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色				16.05~19.40m、礫径やや大きく、砂岩比率高い玉石混じり砂礫。礫径10~40mmの硬質中~粗砂岩角礫主体。礫率50%前後、粘板岩礫は径10mm以下の細礫のみ。基質は黄褐色砂質シルト。	05/23 11.75	29	11.15	10	9	10	29										5/20
12			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/25 12.65	37	12.15	10	12	15	37									5/20	
13			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/23 12.65	24	13.15	10	8	6	24									5/20	
14			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/25 15.30	79	14.15	21	29	90	190									5/20	
15			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/25 15.30	60	15.15	11	24	15	50	250								5/21	
16			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/27 17.45	45	16.00	50	60	60	60									5/21	
17			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/27 17.45	45	17.15	15	13	17	45									5/23	
18			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/28 18.30	40	18.15	14	11	15	40									5/23	
19			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/28 18.30	39	19.15	15	13	11	39									5/24	
20			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					05/28 18.30	54	20.15	16	18	16	80	280								5/24	
21			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					06/01 21.30	27	21.15	9	7	11	27									5/24	
22			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					06/01 21.30	94	22.15	19	31	60	160	160								5/25	
23			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐色					06/01 21.30	23	23.15	9	7	7	23									5/25	



ボーリング柱状図 (藤 B V - 1)

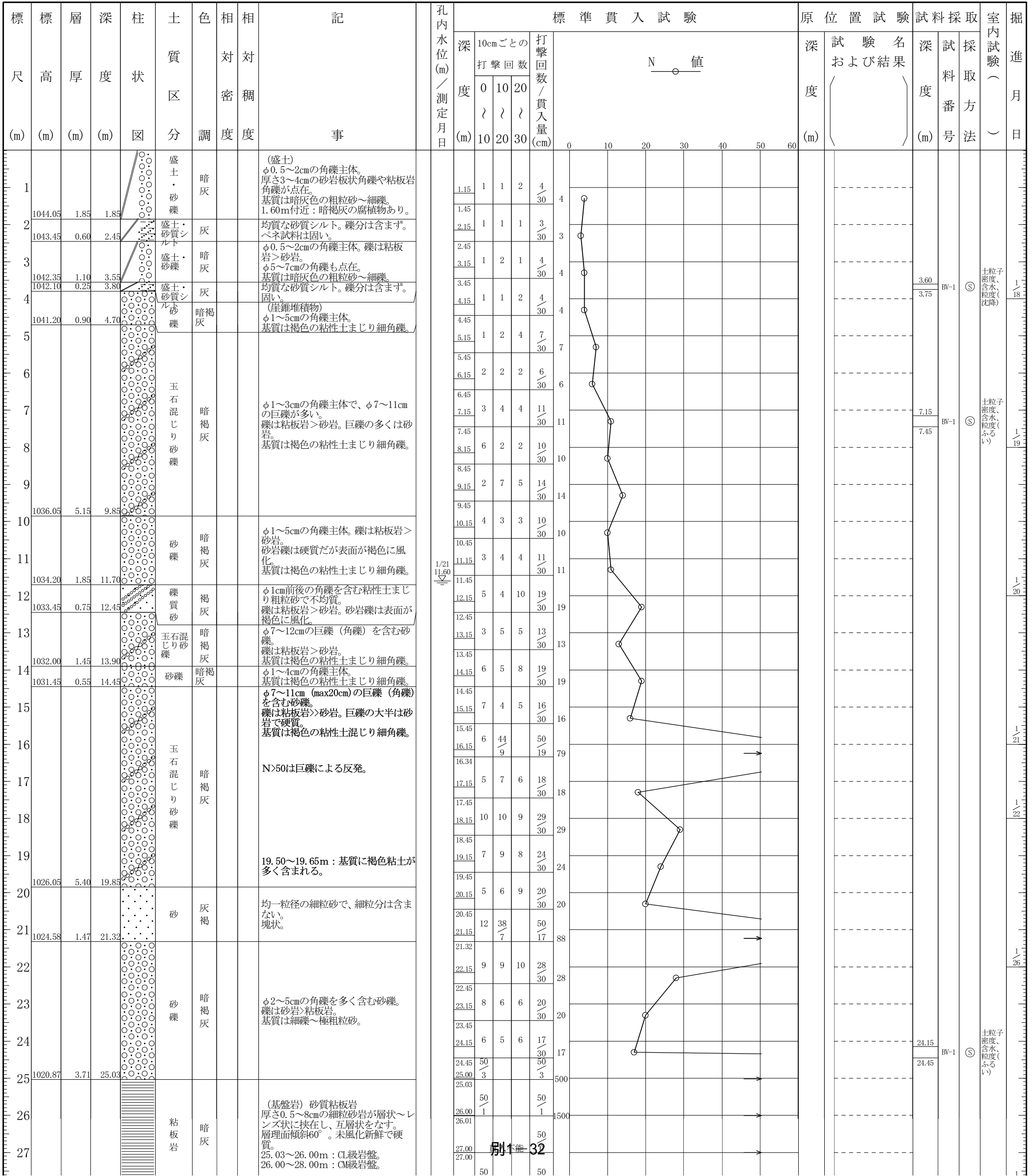
調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 1		調査位置	静岡市葵区田代藤島			北緯	35° 23' 52.7"			
発注機関				調査期間	令和3年1月15日 ~ 3年1月27日			東経	138° 12' 27.4"		
調査業者名				主任技師				現場代理人			
コア鑑定者				試験機	D0-D			ハンマー落下用具	半自動落下		
エンジン				ポンプ	MS154-A						
孔口標高	1045.90m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種			
総掘進長	28.00m	度		向							



ボーリング柱状図 (藤 B V - 2)

調査名

ボーリングNo

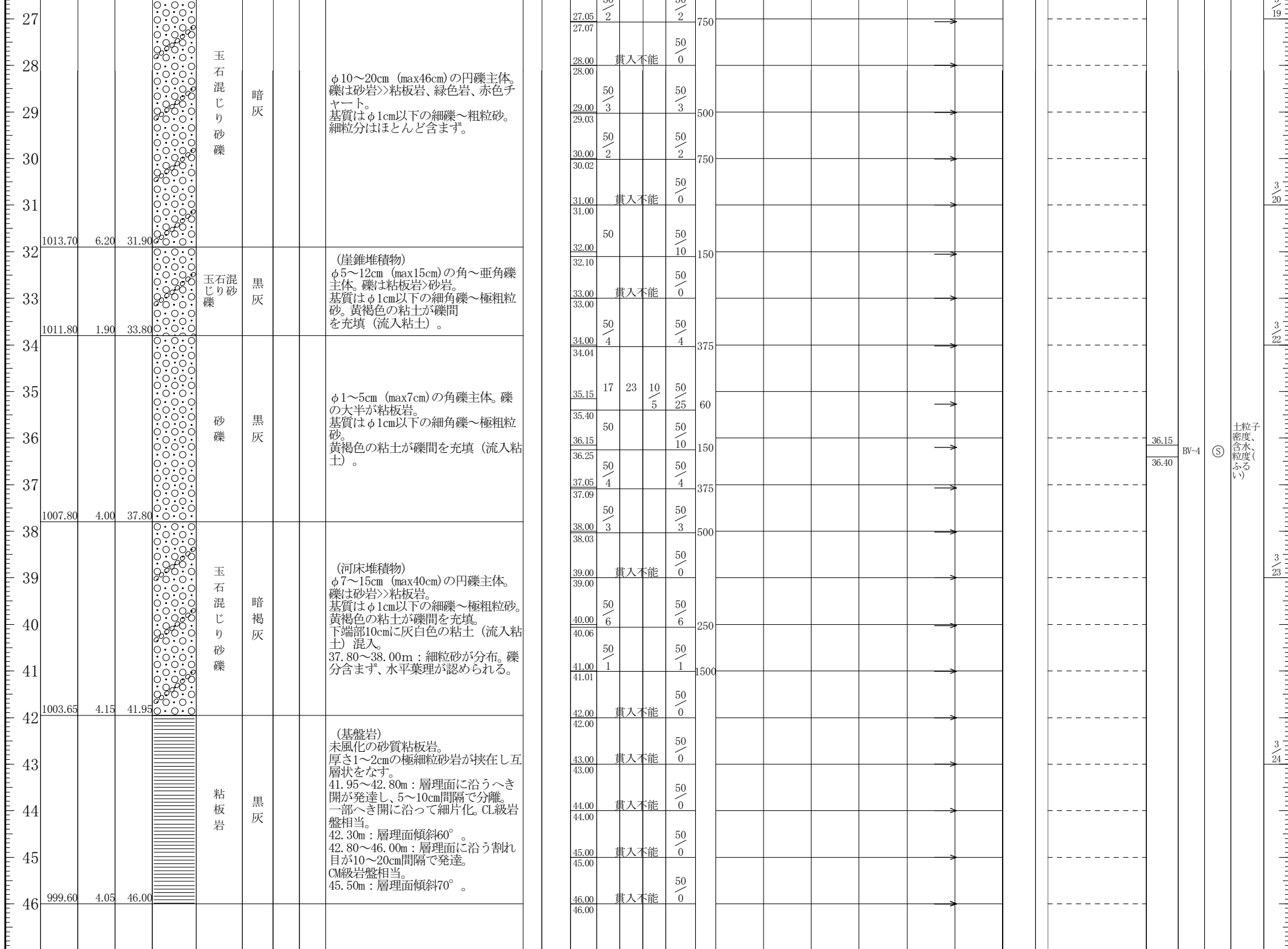
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 2	調査位置	静岡市葵区田代藤島			北緯	35° 23' 51.0"
発注機関		調査期間	令和 3年 1月 30日 ~ 3年 2月 13日			東経	138° 12' 27.8"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	1046.1m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	39.80m	使用機種	試錐機		D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
		エンジン			NFD-10	ポンプ	MS154-A

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進						
									深	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量					深	試験名	深	採取	採取	
(m)	(m)	(m)						事	(m)	0	10	20	30	(cm)	(m)	および結果	度	番号	方法	(m)	月	日	
1044.20	1.90	1.90		盛土・砂礫	黒灰			(盛土) φ1~3cm (max10cm)の角礫を含む砂礫。 礫は砂岩、粘板岩。 基質は細礫混じり極粗粒砂。	1.15	2	1	2	5	5/30									
1037.80	6.40	8.30		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰 (暗褐灰)			φ7~10cm (max19cm)の角礫を含む砂礫。 礫は砂岩、粘板岩。 基質はφ1cm以下の角礫を多く含む極粗粒砂。 2.60~4.75m: 基質は暗褐色の粘性土分が含まれ、全体に暗褐色をなす。 6.50~8.30m: 礫表面が褐色をなし、暗褐灰の粘性土分も含まれ、全体に暗褐色をなす。	2.15	1	1	2	4	4/30									
1036.65	1.15	9.45		盛土・砂礫	暗褐灰			φ2~7cmの角礫を含む砂礫。 礫表面が褐色をなし、暗褐色の粘性土分も含まれる。	3.15	5	4	3	12	12/30									
1029.70	6.95	16.40		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰 (暗褐灰)			φ7~15cmの角礫を多く含む砂礫。 礫は砂岩、粘板岩。 基質はφ2cm以下の角礫を多く含む極粗粒砂。 9.45~10.00m: 基質に暗褐色の粘性土分が含まれる。 13.70~16.40m: 基質に暗褐色の粘性土分が含まれ、全体に暗褐色をなす。	4.15	3	3	3	9	9/30									
1029.10	0.60	17.00		砂	灰褐			(河床堆積物) 細粒砂。細粒分含まず。木片混入。 16.60~16.70m: 水平葉理の発達したシルト層挟在。	5.15	4	3	4	11	11/30									
1028.10	1.00	18.00		礫質砂	暗灰			φ0.5~1cmの礫を多く含む極粗粒砂。 細粒砂を含まない。 礫表面は円磨されている。	6.15	50				50/10									
1023.90	4.20	22.20		玉石混じり砂礫	暗灰			φ5~10cm (max20cm)の円礫を多く含む砂礫。 礫は砂岩>>粘板岩。 基質はφ1cm以下の細礫主体。赤色チャート礫も点在。 20.55~20.60m: 基質は粘性土分を含まない細粒砂。	7.15	50				50/10									
1023.10	0.80	23.00		砂礫	暗灰			φ1~3cmの円礫を多く含む砂礫。 基質はφ0.5cm以下の細礫主体。	8.15	50				50/4									
24.15				玉石混じり砂	暗灰			φ5~15cm (max22cm)の円~亜角礫を多く含む砂礫。 礫は砂岩>>粘板岩。 緑色岩や紫赤色玄武岩も点在。礫の一部は表面が褐色をなす。 基質はφ1cm以下の細礫主体。	9.15	5	7	8	20	20/30									
24.30				玉石混じり砂	暗灰				10.15	50				50/5									
25.05				玉石混じり砂	暗灰				11.15	10	5	11	26	26/30									
26.10				玉石混じり砂	暗灰				12.10	50				50/2									
27.05				玉石混じり砂	暗灰				13.00	50				50/5									
27.10				玉石混じり砂	暗灰				14.15	5	5	4	14	14/30									
				玉石混じり砂	暗灰				15.00	50				50/3									
				玉石混じり砂	暗灰				16.15	50				50/9									
				玉石混じり砂	暗灰				17.05	50				50/4									
				玉石混じり砂	暗灰				18.00	50				50/2									
				玉石混じり砂	暗灰				19.05	50				50/5									
				玉石混じり砂	暗灰				20.10	50				50/5									
				玉石混じり砂	暗灰				21.00	50				50/8									
				玉石混じり砂	暗灰				22.05	50				50/5									
				玉石混じり砂	暗灰				23.00	50				50/3									
				玉石混じり砂	暗灰				24.15	23	27			50/15									
				玉石混じり砂	暗灰				25.05	50				50/1									
				玉石混じり砂	暗灰				26.10	貫入不能				50/0									
				玉石混じり砂	暗灰				27.05	50				50/5									
				玉石混じり砂	暗灰				27.10	50				50/5									

別1-34



ボーリング柱状図 (藤 B V - 5)

調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 5	調査位置	静岡市葵区田代藤島			北緯	35° 23' 49.9"
発注機関		調査期間	令和 3年 3月 1日 ~ 3年 3月 10日			東経	138° 12' 27.1"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	1054.0m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	30.00m	度		向		使用機種	試錐機 D0-D エンジン NFD-10
						ハンマー落下用具	半自動落下
						ポンプ	MS154-A

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験					N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 (月日)						
									深 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)												
										0	10	20													
1053.00	1.00	1.00	盛土・玉石混じり砂礫	盛土・砂礫	黒灰			(盛土) φ5~10cmの角礫主体。礫は粘板岩>砂岩。基質は極粗粒砂~細礫。細粒分含まず。	1.15	3	1	2	6/30	6											
2								φ1~3cmの角礫主体。所々φ10cm以上の巨礫が混入。礫は粘板岩>砂岩。巨礫は全て砂岩。礫は硬質で、一部礫の表面が褐色に変色。基質は暗褐色の粗粒砂~5mm以下の細礫。細粒分を少量含む。3.45~3.70m:長さ23cmの砂岩巨礫あり。3.70~7.15m:礫径が全体に小さくφ0.5~2cmが主体。	1.45	2	2	2	6/30	6											
3									7.15~7.30m:長さ13cmの砂岩巨礫あり。7.30~12.50m:φ1~3cmの角礫が主体。φ5~7cmの礫も多く混入。細粒分はほとんど含まない。8.45~8.70m:φ10~12cmの砂岩巨礫が混入。φ5cm以上の角礫からなる。最大礫径は12cm。細礫以下は全く含まず、コア採取時に流出したとみられる。	2.15	2	2	2	6/30	6										
4														2.45	2	2	1	5/30	5						
5														3.15	2	2	1	5/30	5						
6														3.45	1	2	2	5/30	5						
7														4.15	1	2	2	5/30	5						
8														4.45	2	3	3	8/30	8						
9														5.15	2	3	3	8/30	8						
10														5.45	2	2	3	7/30	7						
11														6.15	2	2	3	7/30	7						
12														6.45	貫入不能			50/0							
13														7.15	貫入不能			50/0							
1041.50	11.50	12.50	盛土・玉石混じり砂礫	盛土・砂礫	暗灰			φ5cm以上の角礫からなる。最大礫径はφ12cm。細礫以下は全く含まず、コア採取時に流出したと思われる。	8.15	2	2	3	7/30	7			8.15	BV-5	⑤	土粒子密度、含水、粒度(ふるい)					
14													8.45	2	2	2	6/30	6			8.45	BV-5	⑤	土粒子密度、含水、粒度(ふるい)	
15														9.15	2	2	2	6/30	6						
16														9.45	2	2	3	7/30	7						
17														10.15	2	2	3	7/30	7						
18														10.45	2	3	2	7/30	7						
19														11.15	2	3	2	7/30	7						
20														11.45	2	2	2	6/30	6						
21														12.15	2	2	2	6/30	6						
22														12.45	2	1	2	5/30	5						
23														13.15	2	1	2	5/30	5						
1040.30	1.20	13.70						玉石混じり砂礫	盛土・砂礫	暗灰			(崖堆積物) φ5~15mの角礫主体。礫は硬質粘板岩。硬質だが礫表面の多くが褐色に変色。基質は極粗粒砂~細礫からなり、暗褐色~茶褐色の細粒分も含まれる。23.70~24.60m:砂質粘板岩の棒状コアが採取される。φ1m程度の巨岩塊と判断される。	13.45	3	4	5	12/30	12						
24														14.15	3	4	5	12/30	12						
25														14.45	3	5	2	10/30	10						
26														15.15	3	4	4	11/30	11						
27														15.45	4	5	5	14/30	14						
28														16.15	3	4	4	11/30	11						
29														16.45	4	5	5	14/30	14						
30														17.15	4	5	5	14/30	14						
31														17.45	3	5	4	12/30	12						
32														18.15	7	4	3	14/30	14						
33														18.45	5	5	5	15/30	15						
34														19.15	50			50							
35									19.45	2			2												
36									20.15	貫入不能			50/0												
37									20.45	貫入不能			50/0												
38									21.15	貫入不能			50/0												
39									21.17	貫入不能			50/0												
40									22.15	貫入不能			50/0												
41									22.15	貫入不能			50/0												
42									23.15	7	3	6	16/30	16			23.15	BV-5	⑤	土粒子密度、含水、粒度(ふるい)					
43									23.45	50			50				23.45	BV-5	⑤	土粒子密度、含水、粒度(ふるい)					
44									24.00	2			2												
45									24.02	貫入不能			750												
46									25.15	50			50												
47									25.24	50			50												
48									26.00	2			2												
49									26.02	貫入不能			750												
50									27.00	貫入不能			750												
51									27.00	貫入不能			750												

ボーリング柱状図 (藤 B V - 6)

調査名

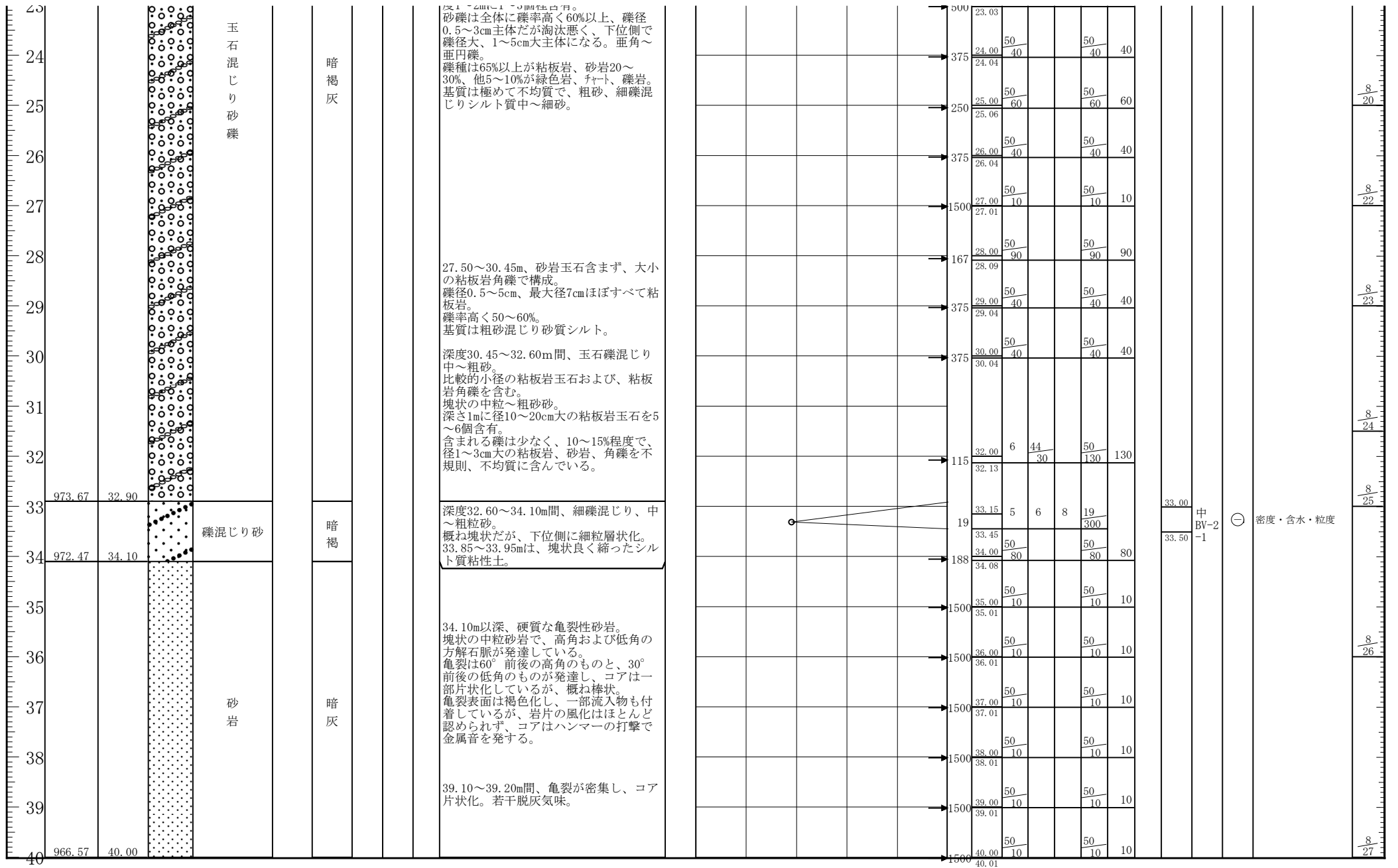
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藤 B V - 6	調査位置	静岡県葵区田代藤島			北緯	35° 23' 56.1"
発注機関		調査期間	令和 3年 4月 1日 ~ 3年 4月 4日			東経	138° 12' 31.7"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	1044.0m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
総掘進長	25.00m	度		向		使用機種	試錐機 D0-D エンジン NFD-10
						ハンマー落下用具	半自動落下
						ポンプ	MS154-A

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (月日)			
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)								
1043.10	0.90	0.90		盛土・砂礫	黒灰			(盛土) φ1~3cm (max6cm)の角礫主体。礫は粘板岩=砂岩。基質は極粗粒砂~細礫で細粒分は含まない。	1.15	3	1	3	7/30	7							
1040.75	2.35	3.25		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰			φ3~10cm (max12cm)の角礫主体。礫は粘板岩=砂岩で巨礫の大半が砂岩。基質は極粗粒砂~細礫で細粒分は含まない。	1.45	2	2	1	5/30	5							
1040.30	0.45	3.70		盛土・粘土	暗灰			シルト質粘土。塊状で成層構造は認められない。	2.45	4	1/20	5/30	5								
1038.30	2.00	5.70		盛土・玉石混じり砂礫	黒灰			φ5~10cm (max15cm)の角礫主体。礫は粘板岩。砂岩は含まない。基質は2~5cmの粘板岩細角礫からなる。砂分、細粒分は含まない。	3.45	6	4	3	13/30	13							
1037.55	0.75	6.45		表土・礫混じり粘性土	暗褐			(表土) φ0.5~2cmの角礫を含む粘性土。基底部は円礫を含む。5.90~6.00m: 黄褐色をなす。	4.45	2	3	2	7/30	7							
1037.05	0.50	6.95		粘土・砂礫	暗灰			(河床堆積物) φ1~3cmの円礫~亜円礫からなる砂礫。	5.45	6	4	5	15/30	15							
1036.10	0.95	7.90		玉石混じり砂礫	暗褐灰			φ5~10cmの円礫主体。礫は粘板岩>砂岩>チャート。基質は黄褐色の細礫混じり中粒砂。	6.45	50			50								
1034.90	1.20	9.10		玉石混じり砂礫	暗灰			φ5~8cmの円礫主体。礫は粘板岩>砂岩。基質は灰色の極粗粒砂~細礫。	7.15	3			3								
1032.70	2.20	11.30		砂礫	暗灰			φ1~5cm (max8cm)の円礫~亜角礫主体。礫は粘板岩>砂岩>チャート。基質は暗灰色の極粗粒砂~細礫。礫の一部とその周囲が褐色に変色。	7.18	11	8	15	34/30	34							
1030.80	1.90	13.20		粘板岩	黒灰(褐灰)			(基盤岩) 砂質粘板岩で砂質葉理が発達。層理面傾斜75°。開口割れ目が多く、砂~細礫が充填。開口幅2~5mm。割れ目周辺は褐色に風化。CL級岩盤相当。	8.15	貫入不能			0								
1019.00	11.80	25.00		粘板岩	黒灰			砂質粘板岩で砂質葉理 (一部レンズ状) が発達。13.20~15.90m: 割れ目の一部は砂分が充填し、褐色に変色。CM級岩盤相当。13.50m: 層理面傾斜40°。15.90~17.70m: 割れ目の多くは層理面に平行で新鮮。層理面に斜交する割れ目の一部が褐色に変色。CM級岩盤相当。16.90m: 層理面傾斜55°。17.70~19.50m: 新鮮堅硬な棒状コア。CH級岩盤相当。19.50~20.00m: 層理面に平行な割れ目が10cm間隔で発達。一部割れ目表面が褐色に変色。CH級岩盤相当。19.70m: 層理面傾斜60°。20.00m: 新鮮堅硬な棒状コア。CH級岩盤相当。22.10m: 層理面55°。24.00~24.20m: 厚さ1~2cmの細粒砂岩層が集中し互層状をなす。岩石中には石英の細脈が網目状に発達。層理面傾斜30°。24.20~25.00m: 砂質葉理が傾斜50~90°で変化。乱堆積構造をなす。	8.45	貫入不能			0								



土質ボーリング柱状図（中BV-3）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		中BV-3		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		試錐機		ポンプ	
孔口標高		T. P. 1006.19m		方位		方位	
総削孔長		33.00m		地盤勾配		エンジン	
角		180° 上下		方位		ヤンマーNFD13	
度		0°		方位		MS753	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日															
												深度 - N値図								深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法							
1	1003.69	2.50	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	暗褐色					0.00~0.25m間、細礫粗砂混じり粘性土シルト。含水率やや高めで、比較的均質。草草根混入。 0.25~2.50m間、玉石混じり砂礫。径12cm砂岩。玉石0.60mに分布。砂礫は礫径比較的小さく、0.5~2cm主体、最大径3.5cm、亜角~亜円礫主体で、礫種は概ね粘板岩か砂岩。基質は粗砂混じり砂質シルトで含水率は高い。	07/13 1.20 07/14 2.35	8	1.15	4	2	2	8	300																
2												13	2.15	5	4	4	13	300																
3			礫混じり砂	礫混じり砂	暗褐色					2.50~4.55m間、含水率の高い礫混じり層状砂。径0.4~3.5cm角礫を含む層状のシルト~粗砂。径10cm砂岩玉石2.90mに分布。 2.50~2.65m、層状シルト~細砂。 2.65~3.50m、塊状礫混じり細~中砂。 3.50~3.65m、塊状細礫混じり粗砂。 3.65~4.50m、層状細砂~シルト。		10	3.15	4	3	3	10	300																
4	1001.69	4.50										6	4.15	1	2	3	6	300	4.00	中BV-3-1						7/13								
5												167	5.00	50		50	90	90	4.50															
6										4.5~14.7m、淘汰の悪い不均質な玉石混じり砂礫。 玉石は径10~20cm主体で、最大径30cm、深度1~2mに2~3個程度含有。岩種は砂岩70%以上、粘板岩25%他、緑色岩を含む。 砂礫は、径0.5~3cmの亜角~亜円礫が主体だが、淘汰悪く最大径6cm。礫種は、粘板岩50~60%、砂岩40%他、緑色岩、チャートを若干含有する。 基質は、シルト混じりの中~粗砂で、淘汰悪く不均質。		83	6.00	21	29	80	50	180	180															
7												68	7.00	17	23	10	50	220																
8												88	8.00	14	36	70	50	170																
9												94	9.00	26	24	60	50	160																
10												68	10.00	14	20	16	50	220																
11												167	11.00	50		50	90	90																
12												68	12.00	21	14	15	50	220																
13										11.00~14.70m、礫の円磨度高くなく円礫主体。(玉石も円磨度高い感じ)		100	13.00	21	29	50	50	150	150															
14												750	14.00	50		50	20	20																
15	991.49	14.70								14.75~16.30m間、層状粗砂~中~細砂質シルト。 層厚10~20cmだが、層内は塊状で淘汰良くなく葉理等見えない。		8	15.15	2	3	3	8	300	15.00	中BV-3-2														
16	989.89	16.30	シルト質砂	シルト質砂	暗褐色							150	16.15	50		50	100	100	15.50															
17												500	17.15	50	30		50	30																
18												188	18.00	50	80		50	80	80															
19												750	19.00	50	20		50	20	20															
20										16.30~25.25m間、淘汰の悪い玉石混じり砂礫。 玉石径、分布ともに不規則不均質で、玉石径10~70cm、主に砂岩で粘板岩、チャート。 砂礫は、径0.5~3cm、最大径5cmの亜角~亜円礫で礫率高く60~40%。 礫種は、砂岩、粘板岩がほとんどで、チャート、緑色岩も若干含んでいる。 基質は、不均質で淘汰の悪い粗砂混じり砂質シルト。		250	20.00	50	60		50	60	60															
21												750	21.15	50	20		50	20	20															
22												250	22.00	50	60		50	60	60															
23												167	23.00	50	90		50	90	90															
24												100	24.00	50		50	100	100																

土質ボーリング柱状図（紅BV-1）

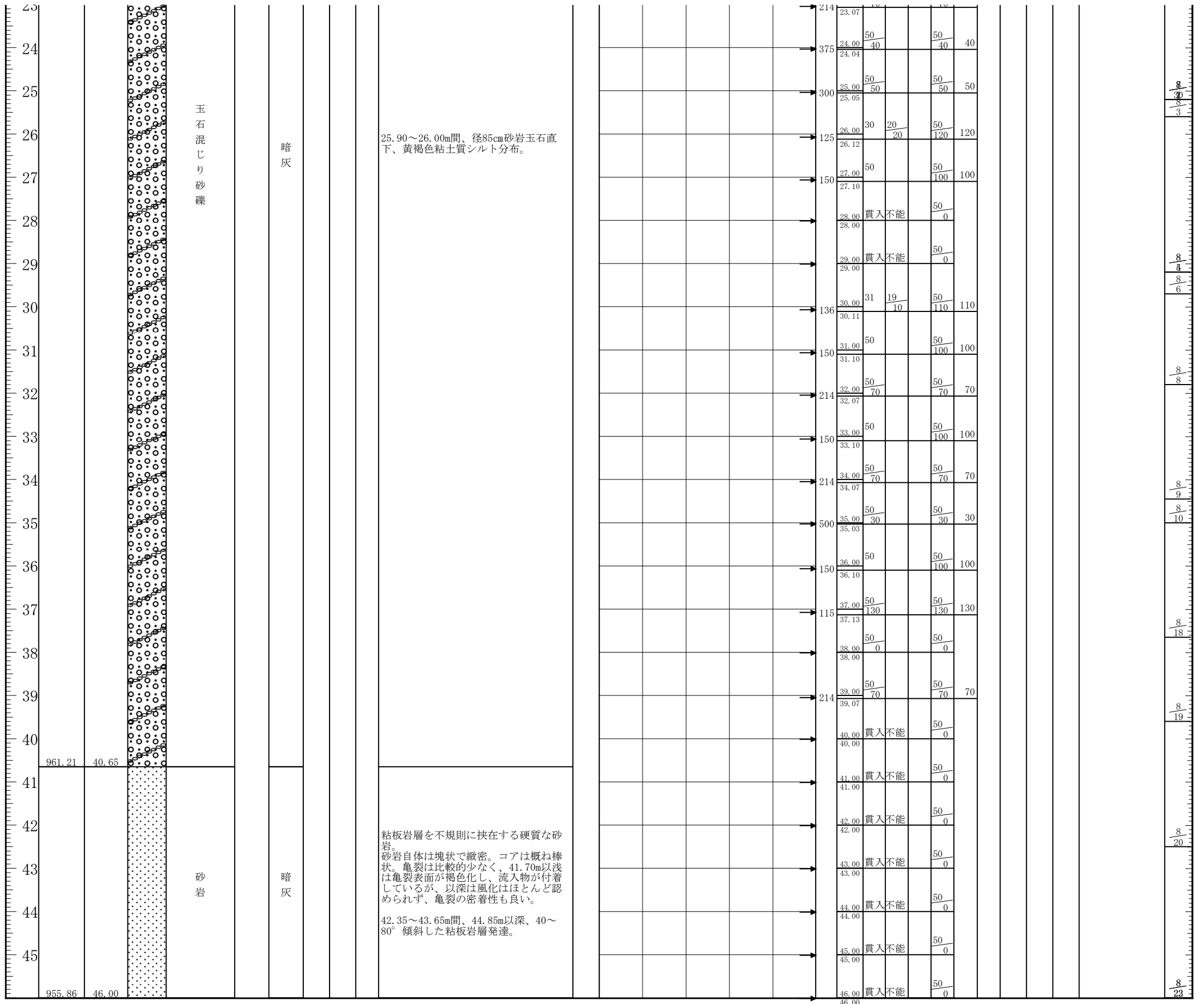
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		紅BV-1		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		使用機種		試錐機		ポンプ	
孔口標高		T. P. 1001.69m		エンジン		ヤンマーNFD12	
総削孔長		40.00m		ポンプ		ヤンマーCP65	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日											
												深 度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法							
1	1000.09	1.60	砂礫	砂礫	暗褐灰					深度0.00~0.10m、落葉・腐植土。深度0.10~1.60m、礫混じり砂質シルト。礫径小さく概ね径3cm以下の粘板岩、砂岩角礫。砂質シルトは細礫、粗砂を多く含み、淘汰悪く不均質。	07/20 1.40	1.15	10	8	7	25	300													
2	998.89	2.80	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	暗褐					淘汰の悪い玉石混じり砂礫。径8cm以下の砂岩玉石含み礫率高く60%程度。基質は同様に淘汰悪く、含水率の高い粗砂混じり砂質シルト。		2.15	5	4	3	12	300							7/20						
3	998.09	3.60	砂	砂	褐					深度2.70~3.55m、淘汰の良い塊状の細砂。礫をほとんど含まず、下部には葉理発達。	07/21 4.20	3.15	2	2	2	6	300	3.00	紅BV-1-1	○	密度・含水・粒度									
4											07/21 4.20	3.45						3.50	紅BV-1-1	○	密度・含水・粒度									
5											08/18 4.30	4.15	2	3	3	8	300	5.00	紅BV-1-2	○	密度・含水・粒度			7/21						
6											08/18 4.30	4.45						6.50	紅BV-1-2	○	密度・含水・粒度			7/21						
7											08/18 4.30	5.15	13	18	19	50	260													
8											08/18 4.30	5.41																		
9											08/18 4.30	6.05	39	11	50	50	150													
10											08/18 4.30	6.20																		
11	990.69	11.00								深度1.65~12.70m間、淘汰の悪い玉石混じり砂礫。径8cm以下の砂岩玉石を含み、礫率高く60%程度。礫径1~3cm主体で淘汰悪く、亜角~亜円礫、概ね粘板岩および砂岩で構成。基質は同様に淘汰悪く、含水率の高い粗砂混じり砂質シルト。		7.15	1	49	50	150	150													
12										深度3.55~11.00m、淘汰の悪い玉石混じり砂礫。玉石は比較的小計の径15cm以下のものが、深度1mに5~7個ほど含有。岩種は、砂岩60%、粘板岩40%ほどで、一部緑色岩。礫は径1.5cm以下の細礫と、径3cm前後の礫を混合。円磨度は高く、円礫主体。礫種は砂岩、粘板岩がほとんどだが、緑色岩、赤色チャートも含有する。基質は淘汰悪く、不均質な粗砂混じり砂質シルト。		7.30																		
13										8.00~8.40m、シルト混じり、中粒砂。		8.15	5	6	9	20	300													
14										11.00~13.30m間、礫、不片、シルト層を挟む層状シルト質中粒砂。11.00~11.80m、シルト質中粒砂。深度10cm毎程度に直物片混入。11.80~12.80m、20cm以下の細礫混入。全体に不均質塊状。12.80~12.95m、塊状の中粒~細粒砂。下位方向に粗粒化。12.67m付近、木片、細礫混入。13.00m付近、径2~3cmの円礫混入。		8.45																		
15												9.05	38	12	20	50	120													
16												9.17																		
17												10.05	50	70	50	70	70													
18												10.12																		
19												11.15	3	4	5	12	300	11.00	紅BV-1-4	○	密度・含水・粒度									
20												11.45						11.50	紅BV-1-4	○	密度・含水・粒度									
21												12.15	8	10	7	25	300													
22												12.45																		
23												13.15	11	10	15	36	300													
24												13.45																		
25												14.00	20	30	50	200	200													
26												14.20																		
27												15.00	貫入不能																	
28												16.05	22	28	50	200	200													
29												16.25																		
30												17.00	50	70	50	70	70													
31												17.07																		
32												18.00	貫入不能																	
33												18.00																		
34												19.00	貫入不能																	
35												19.00																		
36												20.00	貫入不能																	
37												20.00																		
38												21.00	50	90	50	90	90													
39												21.09																		
40												22.00	50	30	50	30	30													
41												22.03																		
42												23.00	24	26	40	50	140	140												
43												23.14																		
44												24.00	50	50	50	50	50													

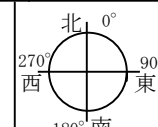
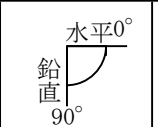



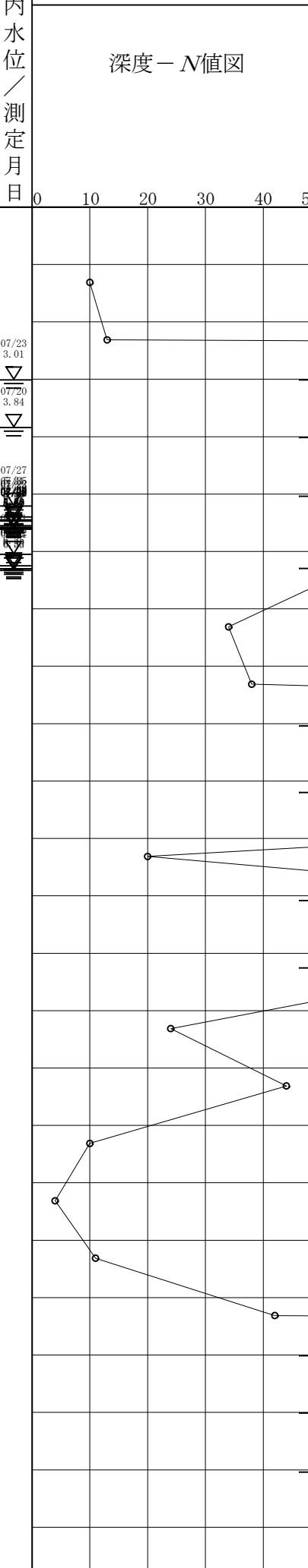

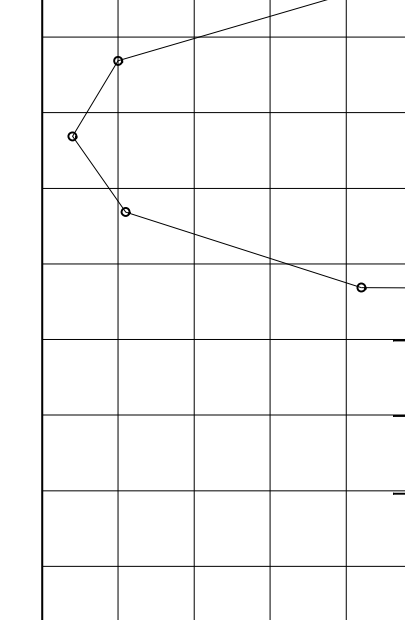
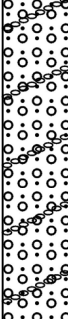
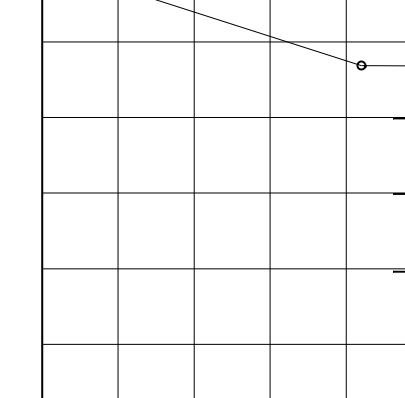
土質ボーリング柱状図（紅BV-3）

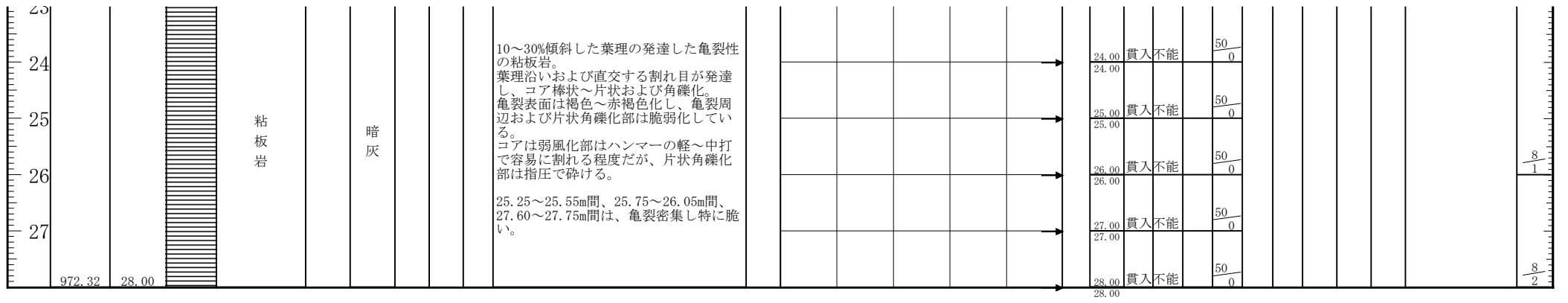
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		紅BV-3		調査位置				北緯			
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経			
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者											
孔口標高		T. P. 1000.32m		方位				地盤勾配			
総削孔長		28.00m		使用機種		試錐機		鉦研OP-1		エンジン	
								ヤンマーNFAD12		ポンプ	
										ヤンマーCP30	

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日																						
												深度-N値図											100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日														
1				玉石混じり砂礫		暗灰				<p>砂層を挟在する不均質な玉石混じり砂礫。玉石径は比較的小さく、10~20cm主体。概ね砂岩、粘板岩。含有率は深度1mに2~4個程度。0.00~0.10m間、腐植質の礫質土。径1.5~3cmの角礫含有。0.10~4.10m間、廃棄物塊を含む不均質な砂礫。1.70~12.00m、2.65~3.90m、コンクリート塊。砂礫は、径0.5~5cmの亜円礫を含み、基質は砂質シルトで極めて不均質。</p> <p>4.10~15.45m、淘汰の悪い不均質な玉石混じり砂礫。径10~20cmの玉石を深度1mに2~3個程度含有する。岩種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩とチャートが10%程度。砂礫は、径1~3cm程度の亜角~亜円礫で、礫種は、粘板岩60%、砂岩30%、緑色岩、チャートが10%以下。基質は、淘汰悪く不均質な細礫、粗砂混じり砂質シルト。</p>	<p>07/23 3.01</p> <p>07/20 3.84</p> <p>07/27 既観</p>																																	
2																												10	1.15	3	3	4	10								7/19			
3																												13	2.15	2	7	4	13									7/20		
4																												300	2.45	貫入不能			50											
5																												300	3.00	貫入不能			50											
6																												56	4.00	貫入不能			50											
7																												34	4.00	貫入不能			50											
8																												38	5.00	50		50	50											
9																												300	6.15	13	13	24	50											
10																												214	6.42			70	270											
11																												20	7.15	16	10	8	34											
12																												107	7.45				300											
13																												79	8.15	13	10	15	38											
14																												24	8.45				50											
15	984.92	15.40																										44	9.05				50											
16				シルト質砂		褐灰				<p>15.45~18.40m、層状のシルト質細砂。15.45~16.00m、塊状で淘汰の良い中粒砂~細粒砂。下部に従い細粒化。16.00~16.75m、塊状で淘汰の良い細粒砂混じりシルト。16.75~17.55m、若干有機質で淘汰の良い塊状細砂。16.80~17.00m間には材木塊。17.55~18.10m、塊状シルト。17.75~17.85m間は木片を含む細砂。18.10~18.40m、淘汰の良い細粒砂。</p>	<p>07/27 既観</p>						17.00	紅BV-3-1	○ 密度・含水・粒度																									
17																											10	10.15	50		50													
18	981.92	18.40																										11	10.22				70											
19				玉石混じり砂礫		暗褐灰				<p>深度18.40~22.70m、淘汰悪く不均質な玉石混じり砂礫。玉石は径10~25cm下で、深度1mに3~5個程度含有で、粘板岩または砂岩。砂礫は、径1~5cmの角礫を主体とし、礫率高く50~60%、淘汰は悪く不均質。礫種は粘板岩60%、砂岩35%、他緑色岩、赤色チャート5%。基質は淘汰の悪い細礫、粗砂混じり砂質シルト。</p> <p>21.40m以深、玉石は風化し脆く、ひび割れた粘板岩のみ。</p>	<p>07/27 既観</p>						17.50	紅BV-3-1	○ 密度・含水・粒度																									
20																												42	11.15	7	6	7	20											
21																													107	11.45	14	36	40	50										
22																													300	12.00	14	36	40	50										
23	977.62	22.70										24	12.14				140																											
24												24	13.15	18	32	90	50																											
												24	13.34				190																											
												24	14.15	8	6	10	24																											
												44	14.45				300																											
												10	15.15	18	10	16	44																											
												4	15.45				300																											
												11	16.15	3	3	4	10																											
												42	16.45				300																											
												11	17.15	1	2	1	4																											
												300	17.45				300																											
												11	18.15	3	4	4	11																											
												42	18.45				300																											
												300	19.15	12	15	15	42																											
												300	19.45				50																											
												300	20.00	貫入不能			50																											
												300	20.00	貫入不能			50																											
												300	21.00	貫入不能			50																											
												300	21.00	貫入不能			50																											
												300	22.00	50			50																											
												300	22.05				50																											
												24	22.05	貫入不能			50																											



土質ボーリング柱状図（紅BV-4）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		紅BV-4		調査位置		北緯	
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日	
調査業者名		主任技師		現代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高	T. P. 1001.32m	角	180° 90° 0°	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	36.00m			使用機種	試錐機	エンジン	ポンプ
						試錐機	OS-40
						エンジン	ヤンマーNFD12

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室 内 試 験	削 孔 月 日			
												深 度 (m)	N 値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号
1			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰				砂層を挟在する淘汰の悪い不均質な砂礫。玉石は概ね径10~30cmだが、最大径100cm。砂礫は礫率高く、角礫~亜円礫で構成。基質は細礫、粗砂を含む砂質シルト。深度0.00~0.35m間、径0.8~1cm大の円礫からなる淘汰の良い砂利。深度0.35~3.35m間、淘汰の悪い玉石混じり砂礫。	08/05 3.40	10	1.15	4	4	2	10/300				8/4	
2			礫混じり砂	礫混じり砂		褐				深度3.35~5.30m間、不明瞭な葉理の発達する互層状のシルト質細粒砂および小径の砂礫。シルト質砂層は、3.35~3.75m、4.75~5.25m間で、淘汰良く比較的均質で一見塊状。小径の砂礫は、3.75~4.75m間で、細礫主体、径1~2cm大の角礫を不規則に混入。基質は均質なシルト質細粒砂。		7	3.15	4	2	1	7/300				8/5	
3	998.02	3.30										10	1.45	50			50					
4			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰				玉石径比較的小さく、最大でも径15cmで、深度1mあたり5~7個ほど含有。岩種は、砂岩60%、粘板岩30%、緑色岩10%。砂礫は礫率高く、50~60%で淘汰悪く不均質。ほぼ角礫で構成され、礫種は粘板岩60%、砂岩30%、残り10%が緑色岩およびチャート。基質は、細礫、粗粒砂を多量に含む、淘汰悪く不均質な砂質シルト。	08/08 8.80	4	4.15	2	1	1	4/300				8/5	
5	996.02	5.30										88	5.15	7	43/70	50/170	170					
6			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰				深度5.30~12.70m間、淘汰悪く不均質な玉石混じり砂礫。玉石は径10~30cm大で、深度1mあたり2~3個含有。岩種は、砂岩50%、粘板岩40%、緑色岩10%。		94	6.00	12	38/60	50/160	160				8/6	
7			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰						188	7.00	50/80		50/80	80					
8			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰						214	8.00	50/70		50/70	70					
9			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰						167	9.00	50/90		50/90	90					
10			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰						500	10.00	50/30		50/30	30					
11			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰						125	11.15	16	34/20	50/120	120					
12			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗灰						12	12.00	0		0						
13	988.62	12.70								深度12.70~14.65m間、緩い腐食物、木片混じりシルト混じり細粒~中粒砂。比較的均質。12.85m付近、12.95m付近、13.70m付近、木片混入。13.70~13.80m間、13.90~14.00m間、14.50~14.60m間、木片集中。		3	13.15	1	1	1	3/300					8/8
14	986.72	14.60										4	14.15	1	1	2	4/300					
15			シルト混じり砂	シルト混じり砂		暗褐				深度14.65~16.00m間、玉石含有率の高い玉石混じり砂礫。玉石径10~15cm大で、深度1mに対し7個ほど。15.00~16.00m間は70%が玉石。砂礫は礫率50%前後、礫径0.5~4cmの角礫主体。礫種は粘板岩40%、砂岩30%、緑色岩およびチャートが各15%ほど。基質は、細礫粗粒砂混じりの砂質シルトで、淘汰悪く不均質。		750	15.00	20		50/20	20					8/9
16			シルト混じり砂	シルト混じり砂		暗褐				深度16.00~16.30m間、径1cm以下の円礫混じり細粒砂質シルト。		115	16.15	3	47/30	50/130	130					
17			シルト混じり砂	シルト混じり砂		暗褐				深度16.30~30.95m間、淘汰悪く不均質な玉石混じり砂礫。玉石は径10~30cm大が主体だが、最大径100cm。岩種は、砂岩40%、粘板岩30%、緑色岩、チャート、礫岩各10%ほど。		17	17.00	0		50/0	0					
18			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐						18	18.00	0		50/0	0					
19			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐						100	19.00	6	44/50	50/150	150					
20			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐						75	20.00	0		50/0	0					
21			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐						75	21.00	7	43	50/200	200					
22			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐				砂礫は、礫径等一定せず、変化が大きいが、礫径は1~5cm大の角礫主体。礫種は粘板岩60%、砂岩30%、他10%が緑色岩およびチャート。基質は、細礫、細粒砂混じりの不均質な砂質シルト。径1mの玉石直下20.30~23.00m間は玉石少なく、砂礫、礫径も小さい。礫は径1.5cm以下主体で、径0.8cm以下は亜円礫が多い。		88	22.15	24	26/70	50/170	170					8/10
23			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐						188	23.00	50/80		50/80	80					
24			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		暗褐						50	23.08	0		50/0	0					

ボーリング柱状図 (H28剃石)

調査名

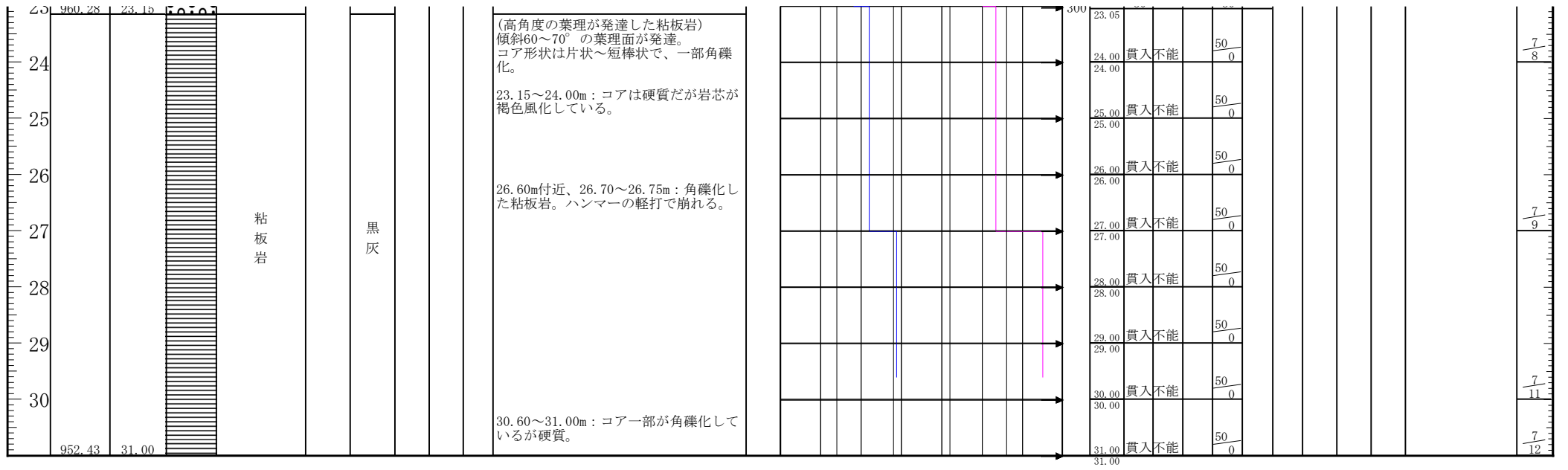
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H28剃石		調査位置	静岡県静岡市葵区田代 大井川上流域 (剃石)			北緯	35° 22' 12.8"				
発注機関	東海旅客鉄道 (株) 中央新幹線建設部			調査期間	平成 28年 9月 27日 ~ 28年 10月 3日		東経	138° 12' 10.1"				
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	+983.06m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	15.00m	度	0°	向				エンジン	NFD-12	ポンプ	MARUYAMA MS-154A	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試料採取深度 (m)	採取方法	室内試験 (掘進月日)		
										深 (m)	10cmごとの打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
										0	10	20	30	40	50	60					
1		980.26	2.80	2.80	埋土・礫混じり土砂	暗黒灰		(埋土) GL.-0.0~1.6m間、φ20~70mmの角礫主体。φmax80mm。基質は中粒砂~細礫。 GL.-1.6~2.80m間、φ3~20mmの粘板岩角礫主体。φmax50mm。基質は中粒~粗粒砂。	10/3 7.9	1.15	4	3	8/30	8			1.15	土密、ふろい、含水	9/28		
2		979.56	0.70	3.50	埋土・玉石混じり土砂	暗黒灰		(埋土) GL.-2.80~3.50m間、φ20~40mmの砂岩礫が多くなる。φmax100mm。	10/3 8.73	2.15	13	11	13/37	37			2.45	土密、沈水	9/29		
3		979.26	0.30	3.80	埋土・礫混じり土砂	暗黒灰		(埋土) φ3~20mmの粘板岩角礫主体。		3.15	38	6	50/16	94			3.80	土密、沈水			
4		978.66	0.60	4.40	埋土・粘性土	灰		(埋土) シルト主体、少量の礫混入。		4.15	3	2	3/8	8			4.00	土密、沈水			
5					礫混じり土砂	暗灰		(河床堆積物) GL.-4.4~5.0m φ5~30mmの砂岩礫多い。基質は粗粒砂~細礫を主体。硬質礫主体。ハンマー打撃で金属音。 GL.-5.0~5.6m 中粒砂主体。φ20mmの礫含む。 GL.-5.6~6.9m 硬質な砂岩礫主体。細粒分少ない。		4.45	2	1	2/5	5/34	4						
6		976.16	2.50	6.90	玉石混じり土砂	暗灰		(河床堆積物) GL.-6.9~7.6m φmax60~70mmの玉石含む。硬質でハンマー打撃で金属音。 GL.-8m付近より、全体に基質部でも締まる。 GL.-7.6~8.0m φ200mmの玉石を含むが、φ10~30mの礫主体の部分もある。 GL.-8.0~14.0m -8~9m間、細礫が多く、φ5~10mmの粘板岩礫を含む。 -9~14m間、φ70~450mmの玉石を多く含む。礫はハンマー打撃で金属音。 -14m以深で礫径、上層と比較して小さくなるが、φmax80mm含む。全体に砂岩礫主体であるが、中~下部では粘板岩礫を含む。		5.15	2	2	2/14	5/34	4						
7										5.49	2	2	1/5	5/30	5						
8										6.15	2	2	1/5	5/30	5						
9										6.45	2	2	12/16	16							
10										7.15	2	2	12/16	16							
11										7.45	16	17	17/9	50/29	52						
12										8.15	16	17	17/9	50/29	52						
13										8.44	14	18	18/7	50/27	56						
14										9.15	14	18	18/7	50/27	56						
15		968.06	8.10	15.00						9.42	16	17	17/6	50/26	58						
										10.15	15	17	18/8	50/28	54						
										10.41	15	17	18/8	50/28	54						
										11.15	50		50/2	750							
										11.43	50		50/2	750							
										12.05	2										
										12.07	31	19	50/15	100							
										13.15	31	19	50/15	100							
										13.30	50		50/6	250							
										14.05	50		50/6	250							
										14.11											
										15.10	31	19	50/19	79							
										15.29											



土質ボーリング柱状図（削BV-2）

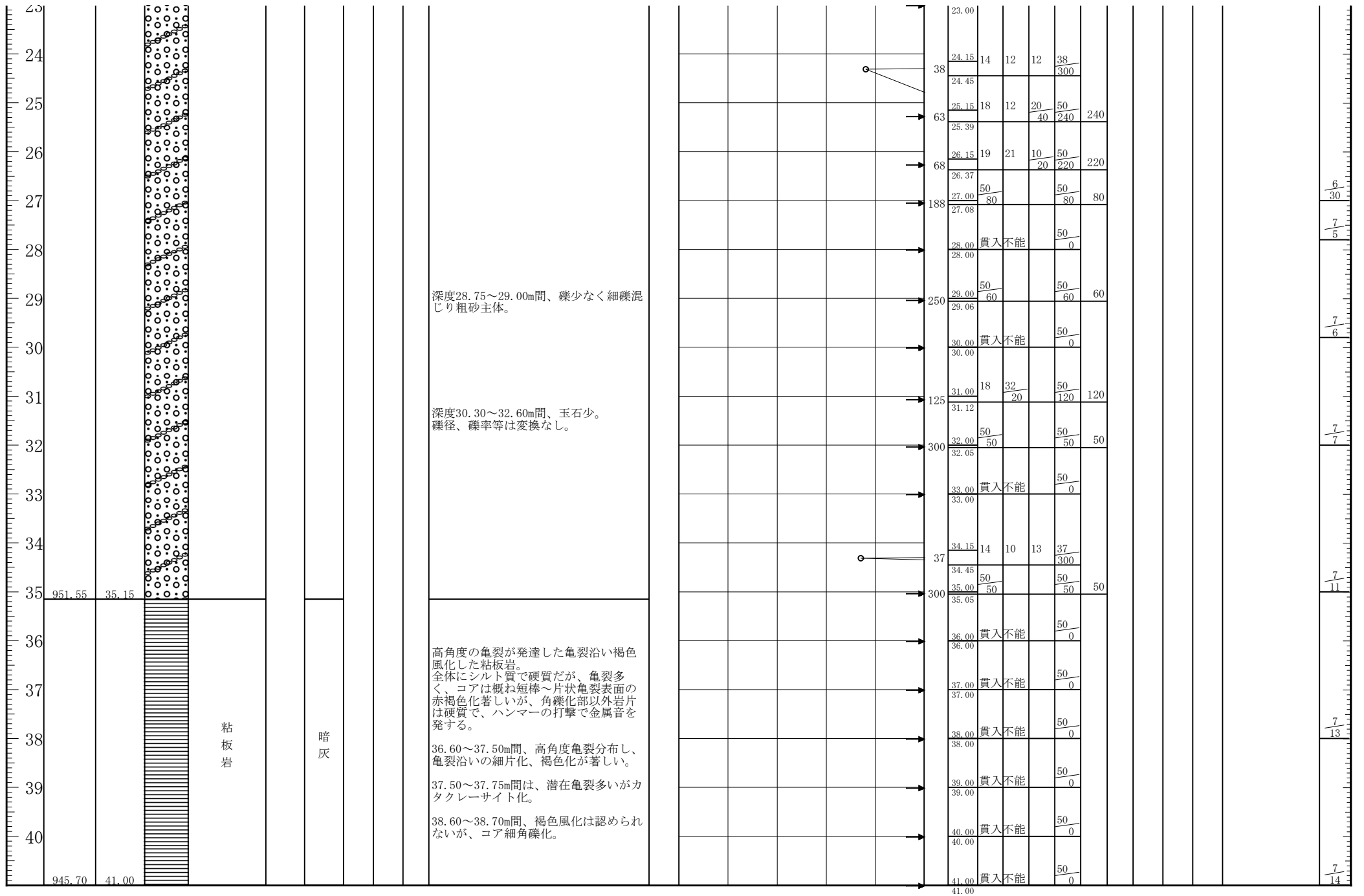
調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	削BV-2			調査位置				北緯			
発注機関	東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所			調査期間	2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日			東経			
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	T. P. 986.70m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	鉦研OP-1	
総削孔長	41.00m				エンジン	ヤンマーNFAD12		ポンプ	ヤンマーCP30		

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室 内 試 験	削 孔 月 日							
												深度 - N値図			N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	
1										不規則に玉石を混入する不均質な砂礫。 玉石の比率は、13.45m以浅で低く、玉石径もやや小さい。 玉石含有率は、径10~40cm大が3~4mに1個程度。 岩種は硬質な粘板岩および砂岩で一部礫岩。		22	1.15	7	8	7	22							6/21			
2												10	2.15	3	4	3	10										
3												10	2.45				300										
4										砂礫は粘板岩角礫を主体とする高礫率、不規則、不均質で全体に緩い。礫率45~60%程度で、径4mm~5cm大、粘板岩多く70%ほど、他砂岩およびチャートが各10%前後。 ほぼ角礫のみで構成され円礫はほとんど含まない。 基質は粗砂、細礫を多量に含む砂質シルト。		23	3.15	3	4	3	10										
5												11	3.45				300										
6										深度0.00~0.20m間、細礫を多く含む砂質シルト。草草根混入。		8	4.15	7	8	8	23										
7										深度3.40~3.50m間、細礫混じり細砂。		8	4.45				300										
8										深度6.55~6.60m間、細礫混じり塊状細砂。		8	5.15	3	3	5	11										
9												150	5.45				300										
10												150	6.15	2	3	3	8										
11												150	6.45				300										
12												150	7.15	3	3	2	8										
13												150	7.45				300										
14												150	8.15	50			50	100									
15												150	8.25				100										
16												150	9.15	4	5	6	15										
17												150	9.45				300										
18												150	10.15	8	19	23	50	230	230								
19												150	10.38				30	230									
20												150	11.15	12	10	11	33										
21												150	11.45				300										
22												150	12.15	8	17	25	50	220	220								
23												150	12.37				20	220									
24												150	13.15	12	18	13	43										
25												150	13.45				300										
26												150	14.15	50			50										
27										13.45~35.15間、玉石含有率のやや高い不均質な砂礫。 玉石含有率は、径10~120cm大が1~2mに2~3個程度。 岩種は、砂岩、硬質な粘板岩、一部チャート礫岩。		150	14.20				50										
28												150	15.00	貫入不能			50	0									
29												150	16.00	50			70	70	70								
30												150	16.07				50										
31												150	17.00	貫入不能			50	0									
32												150	18.00	貫入不能			50	0									
33												150	18.00	貫入不能			50	0									
34												150	19.00	50			40	40	40								
35												150	19.04				40										
36												150	20.00	貫入不能			50	0									
37												150	20.00	貫入不能			50	0									
38												150	21.00	貫入不能			50	0									
39												150	21.00	貫入不能			50	0									
40												150	22.15	12	38	80	50	180	180								
41												150	22.33				180										
42												150	23.00	貫入不能			50	0									
43												150	23.00	貫入不能			50	0									



土質ボーリング柱状図（削り3）

調 査 名

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		削り3		調査位置				北緯			
発注機関		東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部 静岡工事事務所		調査期間		2022年 4月 25日 ~ 2022年 12月 15日		東経			
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者				使用機種		試錐機		エンジン		ポンプ	
孔口標高		T. P. 982.98m		方位		地盤勾配		水平0°		鉛直90°	
総削孔長		34.00m		角 度		180° 上下		90°		0°	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試料採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日						
												N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量												
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												
21																												
22																												
23																												

